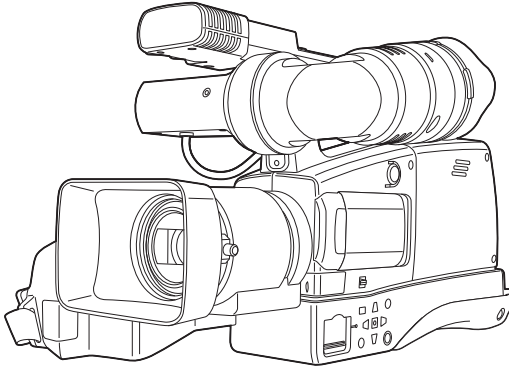


Panasonic®

取扱説明書

メモリーカードカメラレコーダー 品番 AG-HMC75



このたびは、「パナソニック製品」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5～11ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。
製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

AVCHD

DOLBY
DIGITAL
STEREO CREATOR

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

SD
CLASS

PictBridge

LEICA
DICOMAR

安全上のご注意

はじめに

撮影する

再生する

編集する

整理する

他の機器で

パソコンで

その他

もくじ

はじめに

まずお読みください

まずお読みください！	12
------------------	----

使用上のお願い

使用上のお願い	14
---------------	----

メモリーカードカメラレコーダーの特徴

メモリーカード カメラレコーダーの特徴	18
------------------------------	----

使う前に

1. 付属品	22
2. 各部の名前	23
3. 液晶モニターを使う	28
4. ファインダーを使う	28
5. リモコンを使う	29
6. 本機で使えるカード (2008年1月現在)	30

準備する

1. バッテリーを充電する	33
2. バッテリーを入れる (取り出す)	34
3. 充電時間と撮影可能時間	35
4. 電源コンセントにつないで使う	36
5. モードを選ぶ (電源を入れる / 切る)	37
6. SD カードを入れる / 出す	38
7. 十字キーの使いかた	39
8. メニューを設定する	42
9. 時計設定	44
10. 言語設定	45
11. 液晶モニター / ファインダー を調整する	46

撮影する

ビデオを撮影する

1. ビデオを撮影する	48
2. 記録モード / 記録可能時間	50

写真を撮影する

1. 写真 (JPEG (ジェイペグ) 静止画) を撮影する	51
2. 写真画質 / 記録可能枚数	54

いろいろな撮影機能

1. ズーム	55
2. 対面撮影	57
3. 逆光補正	57
- 逆光で人物などが暗くなるのを防ぐ	
4. フェード	58
5. 手ぶれ補正	59
- ぶれを少なくして撮る	
6. ガイドライン	59
- 映像の傾きやバランス、構図を確認しながら、撮影 / 再生する	
7. ゼブラ表示	60
- 明るすぎる部分を表示する	
8. カラーバー	60
- カラーバーを表示して色調を確認する	
9. 音声入力選択	61
10. 音声記録レベル	63

マニュアルで撮影する

1. シーンモード	64
- いろいろな場面で撮る	
2. マニュアルフォーカス	65
- 手動でピントを合わせる	
3. 白バランス (ホワイトバランス) 設定	66
- 自然な色合いにする	
4. シャッター速度 / 明るさ (絞り・ゲイン) 調整	68

再生する

ビデオを再生する

1. ビデオを再生する 69
2. 日付別に再生する 72
3. 繰り返し再生する 72
4. 前回の続きから再生する 73

写真を再生する

- 写真 (JPEG (ジェイペグ) 静止画)
を再生する 74

編集する

シーンを編集する

1. シーンの削除 76
- シーンを削除する
2. シーンのプロテクト 77
- シーンの誤消去を防止する

写真を編集する

1. 写真の削除 78
- 写真を削除する
2. 写真のプロテクト 79
- ファイルの誤消去を防止する
3. DPOF (ディーポフ) 設定 80
- プリント情報を SD カードに書き
込む

整理する

フォーマット

- SD カードのフォーマット 81
- SD カードを初期化する

他の機器で

テレビで

- テレビにつないで見る 82

BD/DVD レコーダーで

- ブルーレイディスク (BD-RE)
にダビングする 87

ビデオで

- DVD レコーダーやビデオにつないで
ダビングする 88

プリンターで (PictBridge)

- プリンターにつないで写真を
プリントする 89

安全上の注意

はじめに

撮影する

再生する

編集する

整理する

他の機器で

パソコンで

その他

もくじ

パソコンで

パソコンで使う前に

1. パソコンでできること91
2. 付属 CD-ROM の内容.....92
3. 動作環境.....93

ソフトウェアのインストール

1. ソフトウェアをインストールする ..95
2. ソフトウェアの取扱説明書を読む ...96
3. ソフトウェアを
アンインストールする96

接続と認識作業

1. 接続と認識の手順97
2. パソコンでの表示について.....98
3. USB 接続ケーブルを安全に外す99
4. 本機がパソコンで正しく認識
されているかどうかを確認する100

HD Writer Ver2.5 を使う

- HD Writer Ver2.5 を使う101

Macintosh で使用する

- Macintosh をお使いの場合103

その他

メニュー・画面表示

1. メニュー一覧104
2. お好み設定 / セットアップ
関連のメニュー106
3. 画面の表示.....107
4. 文章表示.....109
- メッセージが表示されたら

故障かな!?と思う前に

1. 同時に使えない機能一覧111
2. 故障かな!?112

海外で使う




- 海外で使う117

- 用語解説118
- 保証とアフターサービス.....119
- 仕様.....120
- さくいん122

安全上のご注意 必ずお守りください



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

安全上のご注意

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です)

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

バッテリーパックは、本機専用のACアダプターで充電する



指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

ACアダプターは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

危険

指定以外のバッテリーパックを使わない

バッテリーパックの端子部（ \oplus ・ \ominus ）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない

バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない



液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要（寿命）になったバッテリーについては、15ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起これば、販売店にご相談ください。
液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

警告

ACアダプターの電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）



傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

警告

雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない



接触禁止

落雷すると、感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V～240 V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の上や近くに水などの液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コイン電池やメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

不安定な場所に置かない



落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

付属品・オプションは、指定の製品を使用する



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

水場で使用しない



水場
使用禁止

火災や感電の原因になります。

警告

乗り物を運転しながら使わない



事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

分解や改造をしない



分解禁止

火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ぬれた手で、ACアダプターの電源プラグを抜き差ししない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

異常があったときは、ACアダプターの電源プラグを抜く

- ・ 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- ・ 落下などで外装ケースが破損したとき
- ・ 煙や異臭、異音が出たとき



電源プラグを抜く

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
- 販売店にご相談ください。

ACアダプターの電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

ACアダプターの電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 警告

コイン電池は誤った使いかたをしない

- ・⊕と⊖は逆に入れない
- ・加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れてたりしない
- ・ネックレスなどの金属物といっしょにしない



取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周辺汚損の原因になることがあります。

⚠ 注意

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない



レンズにより集光されると、内部部品が加熱・損傷し、火災、感電、故障の原因となります。

接続したコードは通路を引き回さない



足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因にもなります。

三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない



三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。

- 三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。

コンバージョンレンズなどを装着した状態で、ハンドルを持って振り回したり、ゆさぶったり、振り下ろしたりしない



コンバージョンレンズなどの重量増加により、ハンドルを持って衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になります。

⚠ 注意

長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

火災や感電の原因になります。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う



本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

ACアダプターの電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない



コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する



けがや事故の原因になります。

不安定な場所で、三脚を使わない



倒れると、けがの原因になります。

電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない



本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど*の原因になります。

長時間で使用の場合は、三脚などをお使いください。

*血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や、皮膚感覚が弱い人など（高齢者）は、低温やけどになりやすい傾向があります。

⚠ 注意

本機の放熱を妨げない

- ・ 押入れや本箱など、狭いところに入れないでください
- ・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください
- ・ 通風孔やファンがある場合は、ふさがないようにしてください
- ・ 横倒し、逆さまにしないでください



内部に熱がこもり、火災の原因になります。

直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない



特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機やバッテリー、ACアダプターなどを絶対に放置しないでください。

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

コイン電池は、指定の品番のものと交換する



指定外の電池と交換すると、破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲の汚染の原因になります。

まずお読みください！

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）の前や、長期間ご使用にならなかったときは、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

特に「逆光補正」などの機能をご使用の際は、設定をご確認ください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびSDカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ 本書内の写真、イラストについて

- 本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。画面のイラストでは、表示される文字や記号を実物より大きくして説明しています。

■ 本書での記載について

以下のように記載しています。

- バッテリーパック
→ 「バッテリー」
- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード
→ 「SDカード」
- ビデオ撮影 / ビデオ再生で使える機能
→ **ビデオ**
写真撮影 / 写真再生で使える機能
→ **写真**

■ 参照ページについて

参照いただくページを(P00)で示しています。

■ 本機で使用できるカードは

SDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードです。

詳しくは、30ページをご覧ください。

ノート -----

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- SDHC ロゴは商標です。
- miniSD ロゴは商標です。
- “AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- LEICA/ ライカはライカマイクロシステム IRGmbH の登録商標です。
- DICOMAR/ ディコマーはライカカメラ AG の登録商標です。
- Microsoft[®]、Windows[®] および DirectX[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Intel[®]、Pentium[®] および Celeron[®] は Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - － AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
 - － 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
 - － ライセンスを受けた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
 - － 本製品で SD メモリカードに記録して、エンドユーザーに営利目的でそのカードを配布する場合には、別途 MPEG-LA とのライセンス契約が必要です。ここで言うエンドユーザーとは、個人使用目的でコンテンツを扱う人や団体を指しています。

はじめに

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

使用上のお願い

本機について

使用中は本体や SD カードが温かくなりますが、異常ではありません。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響をおよぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする

また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、本機の故障につながります。（SD カードの出し入れ時はお気をつけください）

- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

本機を持ち運ぶときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障する恐れがあります。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、バッテリーを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 本機は、柔らかい乾いた布でほこりや指紋をふいてください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってから、汚れをふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

監視用などに使わない

- 長時間使うと、内部に熱がこもり故障する恐れがあります。

長期間使用しない場合について

- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

レーザー光線についてのご注意

- レーザー光線が CCD に照射されると、CCD を破壊するおそれがあります。レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分ご注意ください。

三脚の取り付けについて

- 三脚取り付け穴の深さは、5.5 mm です。本機を三脚に取り付ける時は、三脚のネジを無理に締め付けないでください。また、1/4-20UNC タイプ以外のネジを使用すると、本機が破損する場合があります。（P27 「三脚取付穴」）

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または低くなるほど影響が大きくなります。温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や、使用開始後5分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出して保管する

- 入れたままにしておくと、本機の電源を切っても、絶えず微小電流が流れています。そのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 端子部に金属が触れないようにビニールの袋に入れて保管してください。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度：15℃～25℃、推奨湿度：40%～60%です)
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温・多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因になります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、本機で充電容量を使いきってから再保管することをおすすめします。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- 撮影したい時間の3～4倍のバッテリーを準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにACアダプターも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P117)

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本体やACアダプターに付けると、本体やACアダプターをいためます。

不要(寿命になったなど)バッテリーは火中などに投入しない

- 加熱したり火中などに投入すると、破裂する恐れがあります。

充電直後でもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ：
<http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



充電式

リチウムイオン

電池使用

Li-ion Ni

AC アダプターについて



- バッテリーの温度が非常に高い、または非常に低い場合、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。
- 充電ランプが点滅し続ける場合は、バッテリーや AC アダプターの端子部にごみや異物、汚れが付着していないか確認し、正しく接続し直してください。
ごみや異物、汚れが付着している場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから取り除いてください。
それでも充電ランプが点滅する場合は、バッテリーまたはACアダプターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。
- 使用中、AC アダプターの内部で発振音がある場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、AC アダプター単体で約 0.1 W の電力を消費しています）
- AC アダプター、バッテリーの端子部を汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

SD カードについて

- SD カードのラベルに記載されているメモリー容量は、著作権の保護・管理のための容量と、本機やパソコンなどで通常のメモリーとして利用可能な容量の合計です。
- 長時間ご使用になると本機表面やSDカードが多少熱くなりますが、故障ではありません。

SD カードの出し入れは必ずモードダイヤルが「OFF」の状態で行う

SD カードにアクセス中（ や  表示中 / カード動作中ランプ点灯中）は、以下の動作を行わない

- SD カードを抜く
- モードダイヤルを操作する
- 電源を切る
- 振動や衝撃を与える

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願ひ

- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
- 廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ miniSD カードについて

- miniSD カードは、必ず専用の miniSD アダプターを装着してご使用ください。
miniSD カードのみを入れると、本機や miniSD カードが故障する場合があります。
- miniSD アダプターのみを本機に入れしないでください。また、miniSD アダプターを本機に入れた状態で miniSD カードのみを抜き差ししないでください。正常に動作しない場合があります。

液晶モニターについて

- 液晶面が汚れたときは、柔らかい乾いた布でふいてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られています。液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。

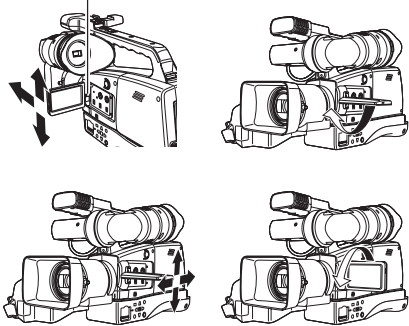
液晶モニターの画素については 99.99% 以上の高精度管理をしておりますが、0.01% 以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。また、これらの点は SD カードの映像には記録されませんので安心ください。

液晶モニター使用時のお願い

液晶モニターを使用する場合、液晶モニターとカメラレコーダーとのジョイント部分に、下記イラストのように、無理な力を加えないでください。破損につながります。

× 誤

ジョイント部分



つゆつきについて

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が「つゆつき」です。つゆつきが起こっていると、レンズがくもったり、正常に動作しない場合があります。つゆつきを起こさない心がけと、起こったときの処置を正しく守ってください。

つゆつきが起こる原因は

- 下記のように温度差、湿度差があると起こります。
 - － 寒い屋外（スキー場のゲレンデなど）から暖かい屋内に持ち込んだとき
 - － 冷房の効いた車などから車外へ持ち出したとき
 - － 寒い部屋を急に暖房したとき
 - － エアコンなどの冷風が本機に直接当たったとき
 - － 夏の夕立のあと
 - － 湯気がたち込めるなど湿度の高いところ（温プールなど）

寒いところから暖かいところなどの温度差の激しい場所へ持ち込むときは

例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋などに本機を入れ、空気を抜き、密封してください。約 1 時間その状態で、移動先の室温になじませてからご使用ください。

レンズがくもっているときの処置

バッテリーや AC アダプターを外して、約 1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむとくもりが自然に取れます。

メモリーカードカメラレコーダーの特徴

高精細ハイビジョン映像

本機は高精細なハイビジョン映像をSDカードに記録するAVCHD規格のビデオカメラです。ハイビジョンテレビにつないで再生すると、高画質なハイビジョン映像を見ることができます。(P83)

ハイビジョン
画質は

従来の標準画質
と比べて

有効走査線数
約**2**倍以上

画素数
約**4**倍以上

※右記の写真は、
説明のための
イメージ写真で
す。

ハイビジョン画質
1440×1080画素



有効走査線数

1080本



従来の標準画質
720×480画素



有効走査線数

480本



■ AVCHDとは？

高精細なハイビジョン映像を記録・再生するための規格です。
映像圧縮はMPEG-4 AVC/H.264方式、音声はドルビーデジタルで記録します。

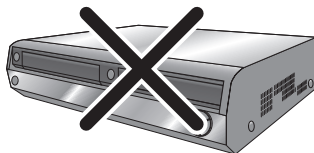
SDHCメモリーカード、また撮影したビデオの互換性について 以下のことにお気をつけください

SDHCメモリーカードについて

- SDHC対応機器以外とは互換性がありません。
- 他機でお使いの場合は、SDHC対応機器をご使用ください。(P30)

撮影したビデオの互換性について

- AVCHD対応機器以外とは互換性がありません。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。
- 互換性のない機器（AVCHDに対応していない機器）では再生できません。
- AVCHD対応機器であっても再生できない場合があります。この場合は、本機で再生してください。



AVCHDに対応していない
従来のDVDレコーダーや
DVDプレーヤーなど



本機で使えるカードは

(P30 ~ P32)



使う準備をする

(P33 ~ P47)



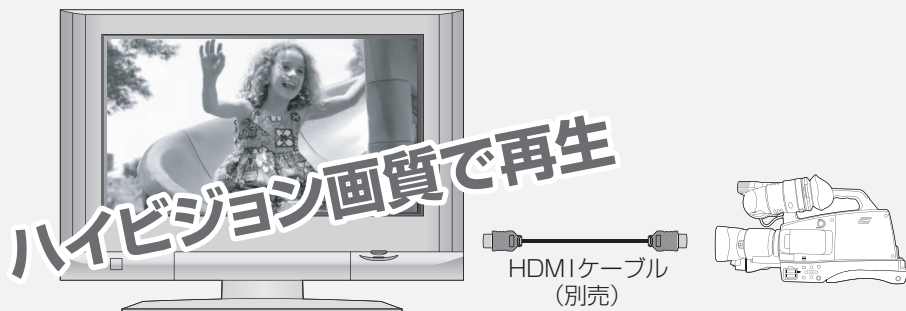
撮影するには

(P48 ~ P68)

ハイビジョン映像の再生

HDMI ケーブル（別売）を使って、本機をハイビジョンテレビにつないで再生するとハイビジョン映像で楽しむことができます。

ハイビジョンテレビ



- ハイビジョン非対応のテレビに接続したときは従来の標準画質になります。

 **本機の再生のしかた** (P69 ~ P75)

 **詳しい操作方法については** (P83 ~ P84)

■ HDMI 端子がないテレビに接続するとき

 **コンポーネント映像ケーブルと音声ケーブルで接続する** (P85)

 **映像ケーブル、音声ケーブルで接続する** (P86)

- ハイビジョン画質では再生できません。従来の標準画質になります。

SDカードのデータを保存

SDカードの容量がいっぱいになったときや誤消去防止のために、付属のソフトウェア（HD Writer Ver2.5）を使って、SDカードのデータをパソコンのHDDにコピーしてください。



はじめに

パソコンへ取り込み

SDカードのビデオや写真のデータをパソコンのHDDにコピーすることができます。

メディアに書き出し

パソコンのHDDから、SDカードまたはDVDディスクにビデオのデータをコピーすることができます。

HD Writer できること

メディア間のコピー

SDカードからDVDディスク、またはDVDディスクからSDカードへビデオのデータをコピーすることができます。

簡易編集

パソコンのHDDにコピーされたビデオのデータの分割・結合・削除など簡単な編集ができます。

重要なお知らせ

付属のHD Writer Ver2.5で作成したディスクはAVCHD規格に対応していない機器には入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。また、AVCHD規格に対応していない機器では再生できません。

- ソフトウェアの詳細い使いかたについては、ソフトウェアの取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。



詳しい操作方法については

(P91 ~ P103)

1. 付属品



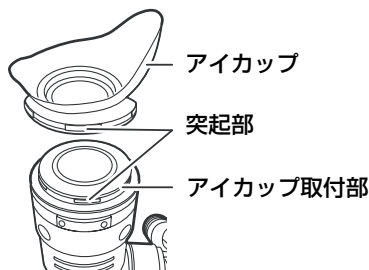
以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。
記載の品番は、2008年1月現在のものです。

<input type="checkbox"/> ワイヤレスリモコン		<input type="checkbox"/> バッテリーパック VW-VBG260	
<input type="checkbox"/> コイン電池 CR2025		<input type="checkbox"/> 電源コード	
<input type="checkbox"/> AC アダプター VW-AD20		<input type="checkbox"/> CD-ROM	
<input type="checkbox"/> DC コード		<input type="checkbox"/> SD メモリーカード (2GB)	
<input type="checkbox"/> ショルダーベルト		<input type="checkbox"/> レンズフードキャップ	
<input type="checkbox"/> アイカップ		<input type="checkbox"/> 取扱説明書 (本書)	
<input type="checkbox"/> フェライトコア			

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- フェライトコアの取り付け方については、83ページをご覧ください。

■ アイカップの取り付け

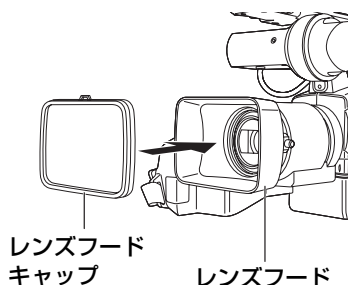
アイカップとアイカップ取付部の突起部を合わせてはめ込んでください。



- アイカップを、アイカップ取付部に取り付けてから回すと、突起部がかみ合わなくなる場合があります。

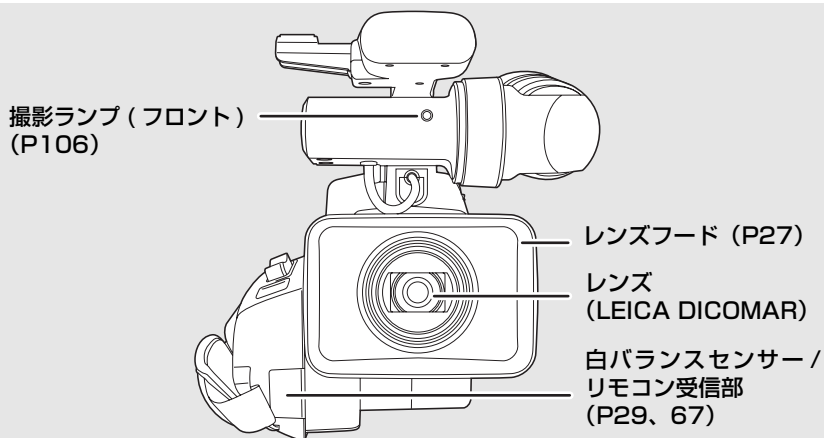
■ レンズフードキャップの取り付け

付属のレンズフードキャップをレンズフードに取り付け、レンズをカバーすることができます。



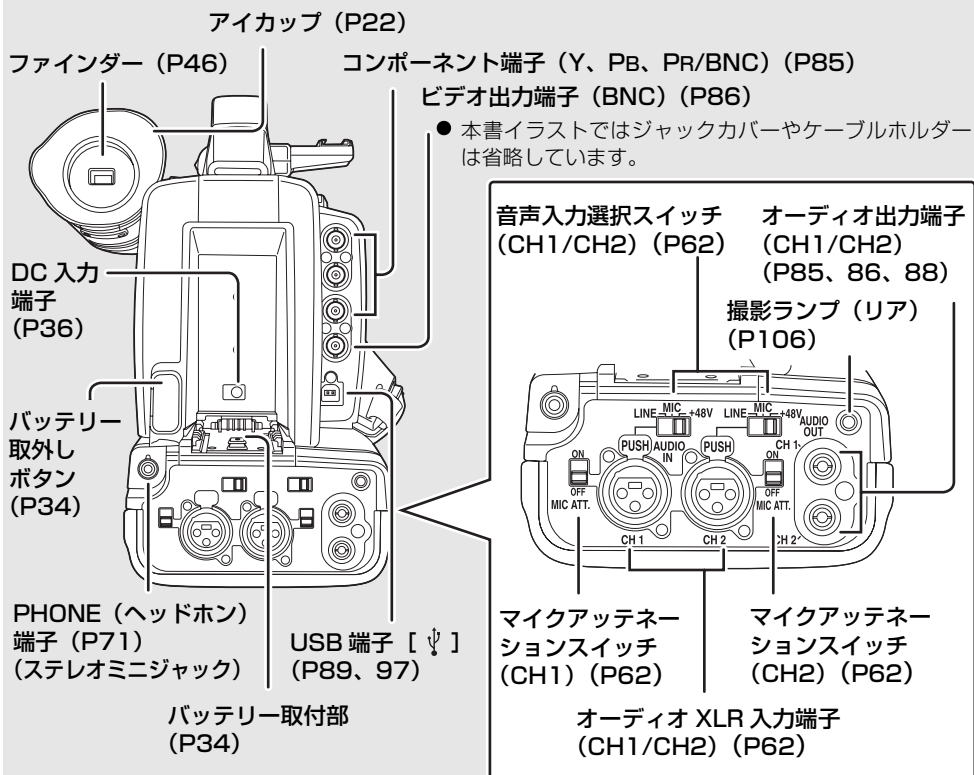
2. 各部の名前

■ 前面

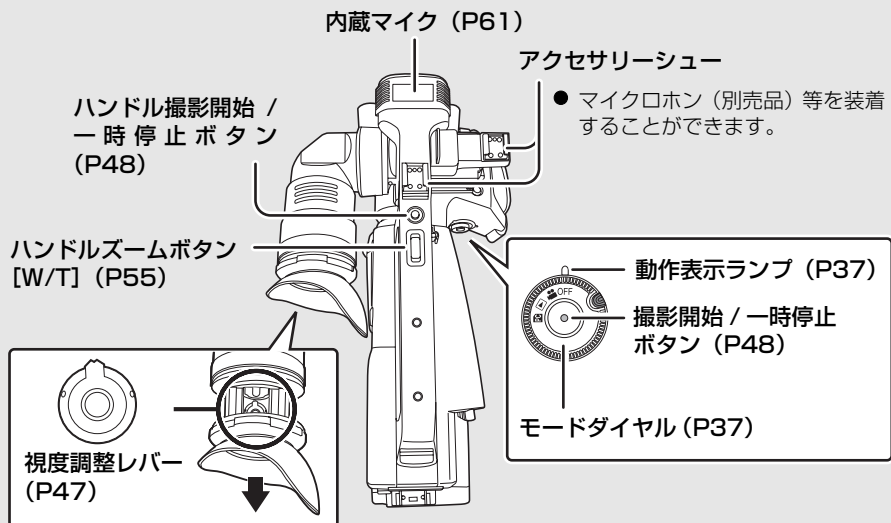


はじめに

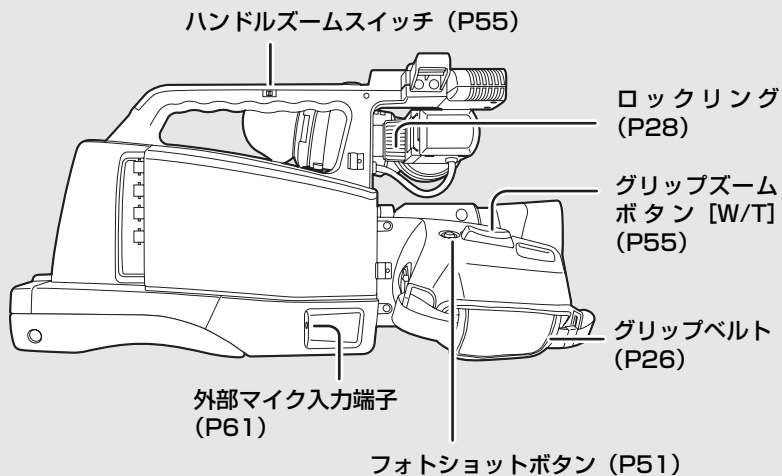
■ 背面



■ 上面

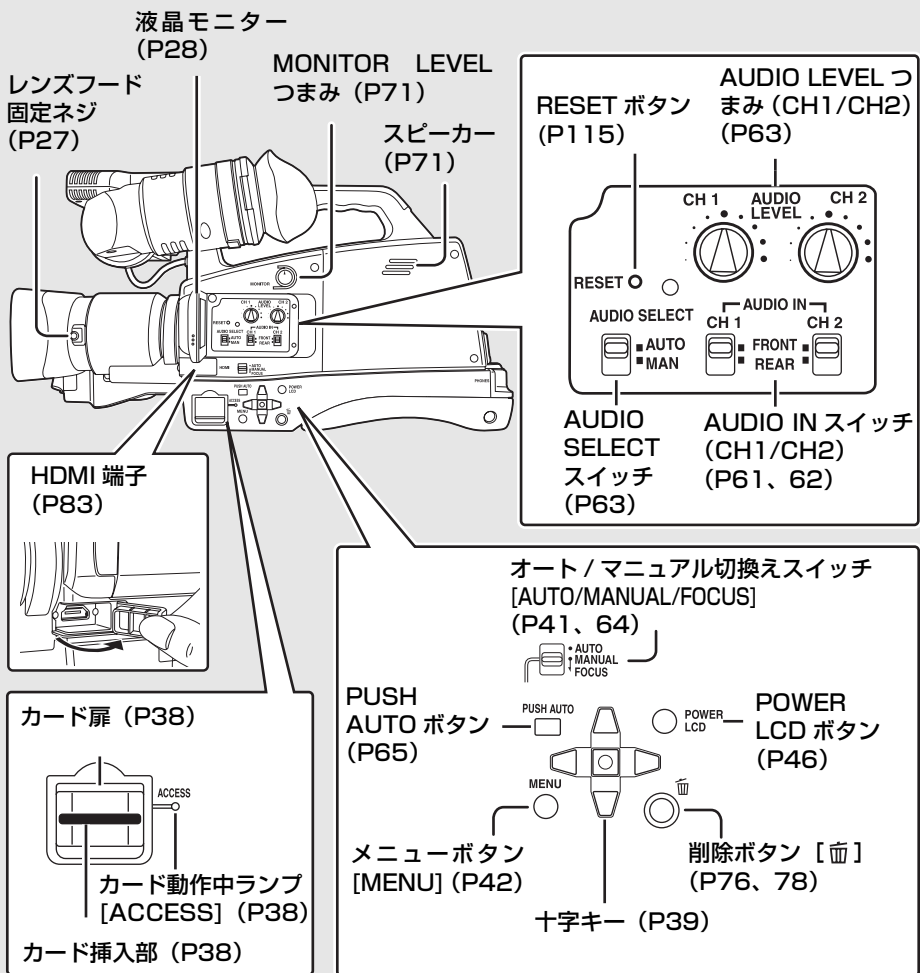


■ 側面 (グリップ側)



● 本書イラストではジャックカバーやケーブルホルダーは省略しています。

■側面（液晶モニター側）

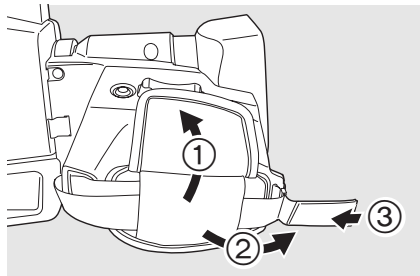


はじめに

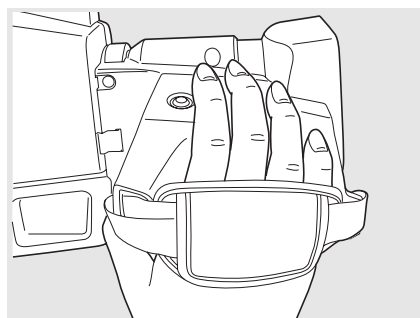
グリップベルト

手の大きさに合わせて調整し、正しく持ってください。

1 ベルトをめくり、ゆるめる



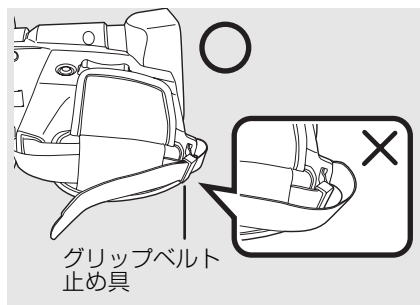
2 グリップベルトに手をとおし、ベルトをとめる



- 手を奥まで差し込んでください。
- 手の大きさに合わせて、しっかりととめてください。

📖 ノート -----

- ベルトをゆるめるときに、ベルトがグリップベルト止め具からぬげないようにしてください。

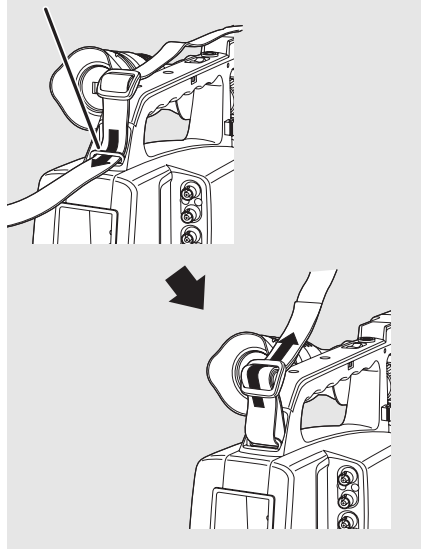


ショルダーベルト取付部

首や肩に掛けるためのショルダーベルトを取り付けるところです。

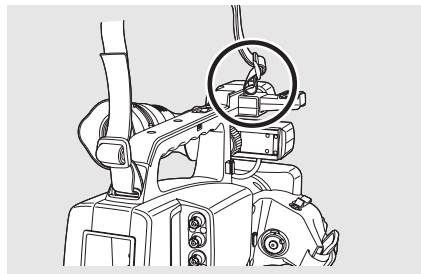
1 ショルダーベルト取付部におして取り付ける

ショルダーベルト取付部



- 取付部にベルトをとおしてから、外れないように留め具にとおしてください。留め具から2 cm以上出しておいてください。

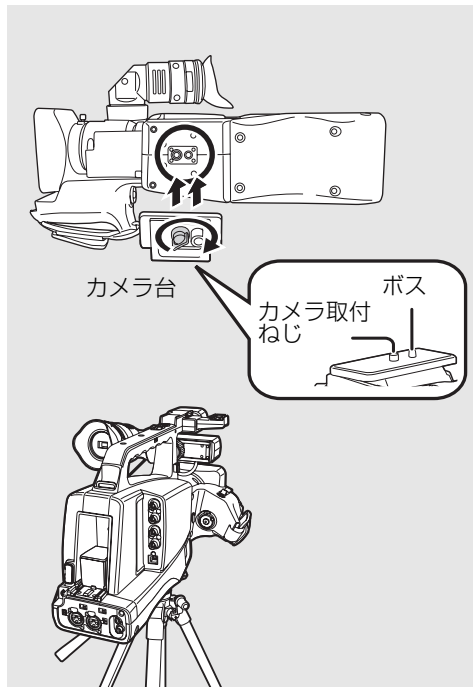
2 もう一方も同様に取り付ける



三脚取付穴

ビデオカメラ用三脚を取り付けるための穴です。
(取り付けかたは、三脚の説明書をお読みください)

- ISO1222(1/4 inch) 規格対応です。
 - 三脚取り付け穴の深さは、5.5 mm です。本機を三脚に取り付ける時は、三脚のネジを無理に締め付けしないでください。
- また、1/4-20UNC タイプ以外のネジを使用すると、本機が破損する場合があります。

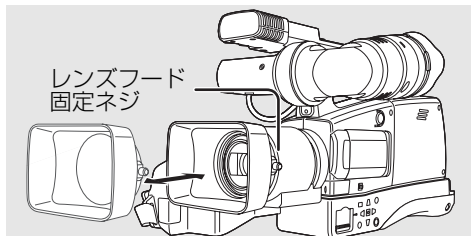


- 三脚使用時は、ワイヤレスリモコンで操作すると便利です。(P29)

レンズフードピース

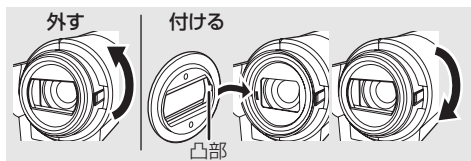
■ レンズフードの取り付け

レンズフード固定ネジを締め(緩め)、レンズフードを取り付け(取り外し)ます。



■ レンズフードピースの取り付け

外すときは反時計方向に回し、付けるときはレンズフードピースの凸部をはめ込んでから、時計方向に回します。



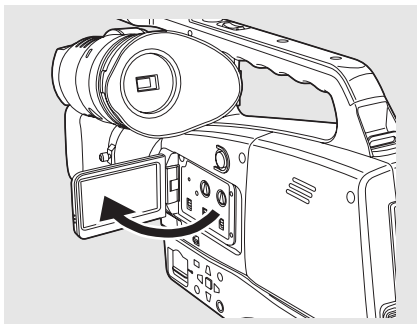
ノート

- フィルターキット VW-LF43N(別売)のNDフィルターや MC プロテクターは、レンズフードピースの前面に取り付けてください。また、それ以外のものは取り付けしないでください。(レンズキャップは除く)
(詳しくは、フィルターキットの説明書をお読みください)
- テレコンバージョンレンズ VW-T4314H(別売)やワイドコンバージョンレンズ VW-W4307H(別売)は、レンズフードピースを外してから取り付けてください。(レンズフードピースの前面に取り付けしないでください)(詳しくは、テレコンバージョンレンズ/ワイドコンバージョンレンズの説明書をお読みください)
- NDフィルターとテレコンバージョンレンズなどを2枚重ねて取り付けすることもできますが、ズームをW側にすると、四隅が暗くなる場合がありますので、(ケラレ)、おすすめできません。

3. 液晶モニターを使う

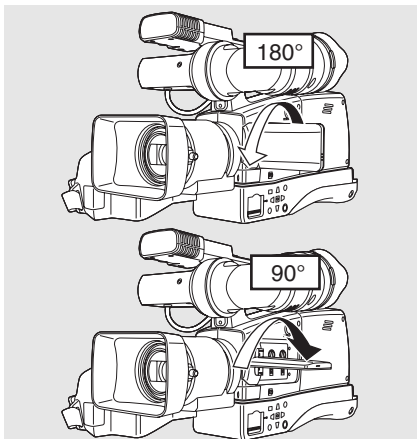
液晶モニターで映像を確認しながら撮影できます。

1 液晶開く部に指をかけて、液晶モニターを開く



- 最大 90° まで開きます。

2 角度を調整する



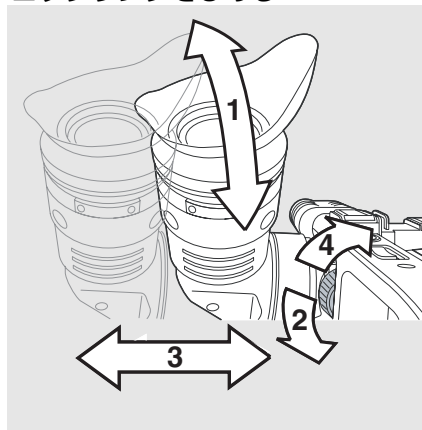
- レンズ方向に 180°、手前に 90° 回転します。

ノート

- 液晶モニターの明るさを調整できます。(P46)
- 無理に開いたり回したりすると、本機に傷が付いたり故障する場合があります。

4. ファインダーを使う

- 1 角度を調整する
- 2 ロックリングをゆるめる
- 3 水平位置を調整する
- 4 ロックリングをしめる

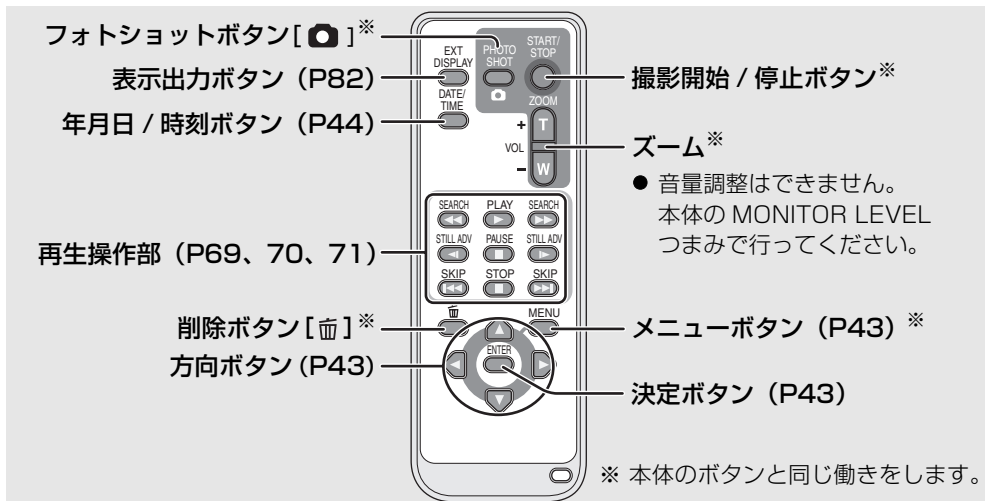


ノート

- ファインダーの明るさを調整できます。(P46)

5. リモコンを使う

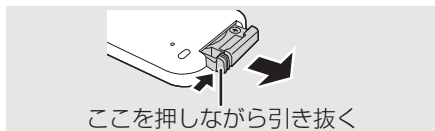
ワイヤレスリモコン



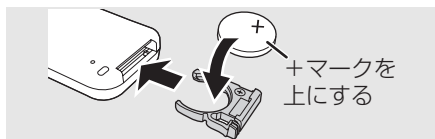
はじめに

■ コイン電池（付属）を入れる

1) ホルダーを引き抜く



2) 電池を入れて、ホルダーを戻す

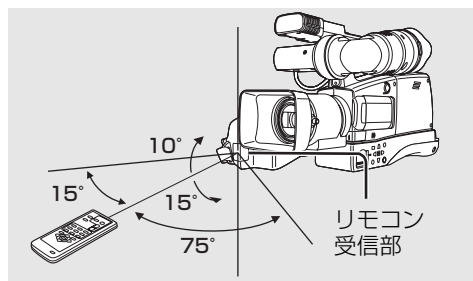


■ ノート

コイン電池について：

- ワイヤレスリモコンを本機のリモコン受信部の近くで操作しても動作しない場合は、コイン電池（CR2025）が消耗しています。新しい電池と交換してください。（電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約1年です）
- コイン電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。

■ ワイヤレスリモコンが使える範囲



リモコン受信部に対して、
距離：約5m以内
角度：上に約10°、下に約15°、
左に約15°、右に約75°

■ ノート

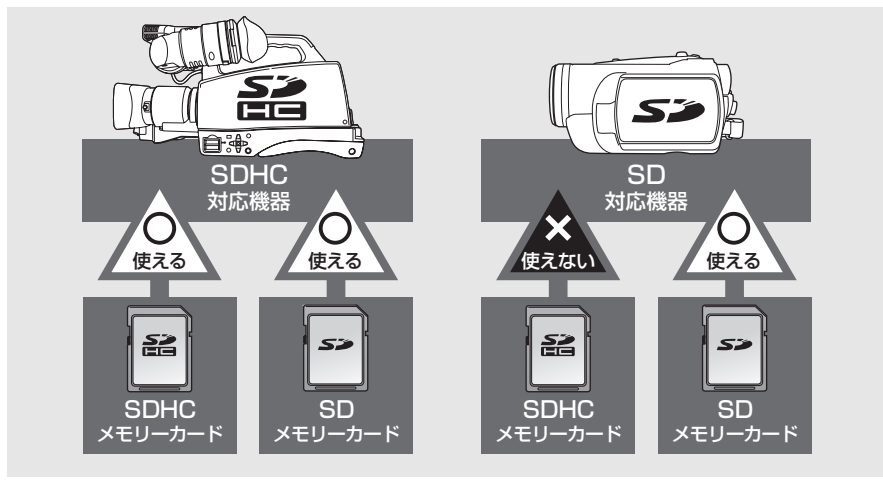
- リモコンの操作範囲は室内での使用時の値です。屋外やリモコン受信部に強い光が当たっているときは、この範囲内であっても操作できない場合があります。
- グリップベルトがリモコン受信部にかからないようにしてください。

6. 本機で使えるカード (2008年1月現在)

カードの種類	SDメモリーカード			SDHCメモリーカード
記録容量	8 MB 16 MB	32 MB 64 MB 128 MB	256 MB 512 MB 1 GB 2 GBまで	4 GB 8 GB 16 GB
ビデオ撮影	使用できません	動作保証して おりません*	右ページの「ビデオの撮影に使用可能なSDカードについて」をお読みください	
写真撮影	使用できます			

※使用するSDカードによっては、ビデオ撮影中に突然記録が停止することがあります。(P49)

本機 (SDHC 対応機器) は SD メモリーカード /SDHC メモリーカード両方に対応しています。SDHC メモリーカードは SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。(SDHC メモリーカードを他機でお使いの場合は、必ずその機器の説明書をお読みください)



■ビデオの撮影に使用可能なSDカードについて

ビデオ撮影には、SD スピードクラスがクラス 2 以上準拠の SD メモリーカード・SDHC メモリーカード、または下記の当社製SDカードのご使用をおすすめします。(2008 年 1 月現在)

カードの種類	Pro High Speed SD メモリーカード	Super High Speed SD メモリーカード	High Speed SD メモリーカード	SDHC メモリーカード
256 MB	—	RP-SDH256 ※	—	—
512 MB	RP-SDK512 ※ RP-SDV512	RP-SDH512 ※	RP-SDR512	—
1 GB	RP-SDK01G ※ RP-SDV01G	RP-SDH01G ※	RP-SDQ01G ※ RP-SDR01G ※ RP-SDM01G	—
2 GB	RP-SDK02G ※ RP-SDV02G	—	RP-SDQ02G ※ RP-SDR02G ※ RP-SDM02G	—
4 GB	—	—	—	RP-SDR04G ※ RP-SDM04G RP-SDV04G
8 GB	—	—	—	RP-SDM08G RP-SDV08G
16 GB	—	—	—	RP-SDM16G RP-SDV16G

※生産終了品

使用可能な SD メモリーカード / SDHC メモリーカードについての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.biz/sav>

- 本機はSD規格に準拠したFAT12、FAT16形式でフォーマットされたSDメモリーカード、およびFAT32形式でフォーマットされたSDHCメモリーカードに対応しています。
- 4 GB 以上のメモリーカードはSDHCメモリーカードのみ使用できます。
- SDHC ロゴのない4 GB (以上) のメモリーカードは、SD規格に準拠していません。
- SDカードのフォーマットは本機で行ってください。パソコンなど他の機器でフォーマットすると、記録に時間がかかったり、本機で使用できなくなる場合があります。(P81) (パソコンなどでフォーマットしたときは、本機でフォーマットしなおしてください)
- SDカード本体には書き込み禁止スイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの削除、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。
- マルチメディアカードは使用できません。

書き込み禁止
スイッチ



■ CLASS② (SD スピードクラス クラス 2) について

SD 規格で規定された、SD 応用機器と SD カード間の連続的な書き込みに関する速度規格 (SD スピードクラス) のクラス 2 を示します。SD 応用機器が SD スピードクラスに対応したクラス 2 のカードを推奨の場合、クラス 2 以上準拠の SD カードのご使用により、安定した記録動作が得られます。

■ 取り扱い上のお願ひ

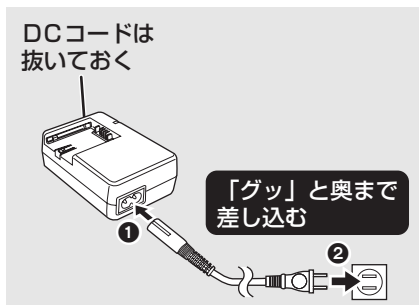
- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- 次のような場所に置かない。
 - － 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
 - － 湿気やほこりの多いところ
 - － 温度差の激しいところ（つゆつきが発生します）
 - － 静電気や電磁波が発生するところ
- 使用後は袋やケースに収める。

1. バッテリーを充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。

- バッテリーは AC アダプターに取り付けて充電してください。
本機にバッテリーを入れても充電できません。
- DC コードは AC アダプターから抜いておいてください。DC コードがつながっていると、バッテリーの充電はできません。
- 本機で使用できるパナソニック製バッテリーは VW-VBG260 および VW-VBG6 です。
(2008 年 1 月現在)
他のパナソニック製バッテリーはご使用になれません。(P35)

1 電源コードを AC アダプターにつなぐ



■ 充電ランプ [CHARGE]

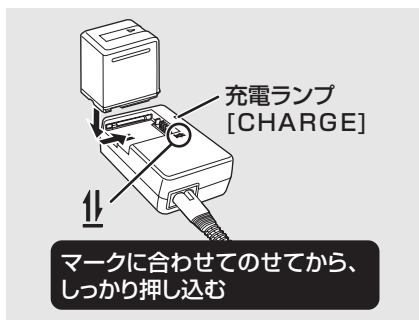
点灯：充電中
消灯：充電完了
点滅：下記参照

■ 充電ランプが点滅したときは

バッテリーや AC アダプターの端子部にごみや異物、汚れが付着していないか確認し、正しく接続し直してください。

- ごみや異物、汚れが付着している場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから取り除いてください。
- それでも充電ランプが点滅する場合は、バッテリーまたは AC アダプターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 充電時間について (P35)

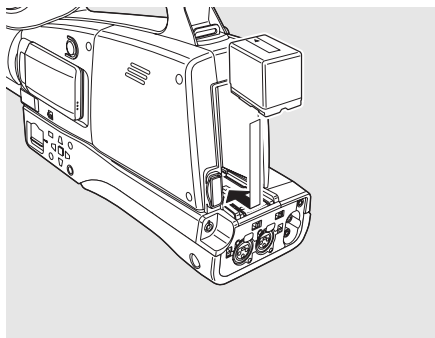
2 バッテリーを付ける



2. バッテリーを入れる（取り出す）

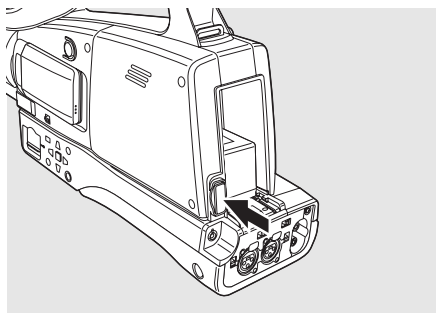
バッテリーを入れる

バッテリーを上からはめ込み、「カチッ」と音がするまで奥へ押し入れる



バッテリーを取り出す

バッテリー取外しボタンを押す



- ロックがはずれ、バッテリーを取り出せます。



ノート

- バッテリーを取り出すときは、必ずモードダイヤルを「OFF」にし、動作表示ランプの消灯を確認してから取り出してください。

3. 充電時間と撮影可能時間

■ 本機で使えるバッテリーについて（2008年1月現在）

本機で使用できるパナソニック製バッテリーは VW-VBG260 および VW-VBG6 です。VW-VBG260 および VW-VBG6 は、バッテリーと本機との間で、安全に使用できるかどうかを確認する機能があるバッテリーです。

- 当社認証を取得した他社製バッテリーは本機で使用できますが、当社は他社製バッテリーの品質・性能・安全性については一切保証できません。
- 安全にお使いいただくために、当社で品質管理されたパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめします。
- パナソニック純正以外のバッテリー（当社認証を取得した他社製バッテリーも含む）が原因で発生した機器の故障や事故につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 実際の品物を確認するのが難しい状態で購入したバッテリーや、異常に低い価格で販売されているバッテリーの中には、模造電池が多く確認されていますのでお気をつけください。

はじめて

■ 充電時間

下表は常温（温度 25℃ / 湿度 60%）での時間です。高温、低温時は充電時間が長くなりますので、めやすにしてください。

バッテリー品番	電圧 / 容量	充電時間
付属バッテリー / VW-VBG260	7.2 V / 2640/2500 (typ./min.) mAh	約 2 時間 50 分
VW-VBG6 (別売)	7.2 V / 5800/5400 (typ./min.) mAh	約 5 時間 50 分

- 長時間使用していないバッテリーを充電するときは、充電時間が長くなる場合があります。

■ 撮影可能時間

- 下表は常温（温度 25℃ / 湿度 60%）での時間です。時間はめやすにしてください。

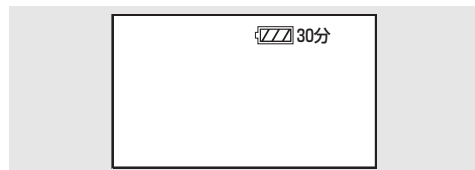
バッテリー品番	電圧 / 容量	連続撮影可能時間
付属バッテリー / VW-VBG260	7.2 V / 2640/2500 (typ./min.) mAh	約 1 時間 50 分
VW-VBG6 (別売)	7.2 V / 5800/5400 (typ./min.) mAh	約 4 時間 50 分

📌 ノート

- 使用状況によって撮影可能時間はかわりますので、めやすにしてください。
- POWER LCD ボタンを押して、液晶モニターの画面を明るくして使用しているときは撮影可能時間が短くなります。
- 使用後や充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中はビデオカメラ本体も温かくなりますが、異常ではありません。
- 低温下では撮影可能時間が短くなりますので、予備のバッテリーを準備することをおすすめします。

■バッテリー残量表示について

本機で使えるパナソニック製バッテリー使用時は、バッテリー残量が分単位で表示されます。表示されるまでしばらく時間がかかります。

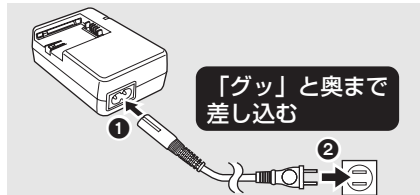


ノート

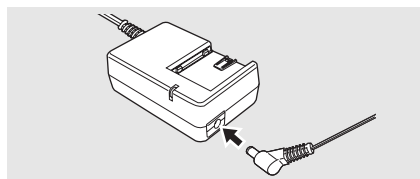
- バッテリーの残量が少なくなるに従って、 と表示が変わります。3 分以下になると が赤色になり、容量がなくなると、 が点滅します。
- 低温、高温になるところや、長時間ご使用にならなかった場合は、バッテリー残量表示が正しく表示されないことがあります。バッテリー残量表示を正しく表示させるには、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。（この操作を行っても、低温、高温になるところで長時間使用したバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります）
- 使用状況によってバッテリー残量表示の時間は変わりますので、めやすにしてください。
- モードダイヤルを回してモードを切り換えたときなどは、バッテリー残量時間を再度計算するため時間表示が一度消えます。
- 他社製バッテリー使用時は、バッテリー残量の時間は表示されません。

4. 電源コンセントにつないで使う

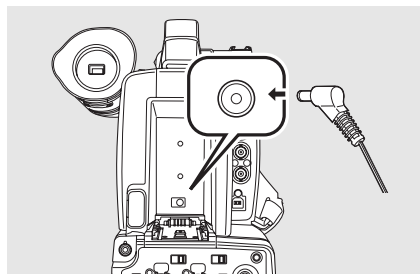
1 電源コードをACアダプターにつなぐ



2 DCコードをACアダプターのDC出力端子に差し込む



3 本機背面のDC入力端子にDCコードをつなぐ



電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

ノート




- バッテリーを充電する場合は、バッテリーをACアダプターに取り付けて充電してください。（P33）
- DCコードをつないでいると、バッテリーの充電はできません。

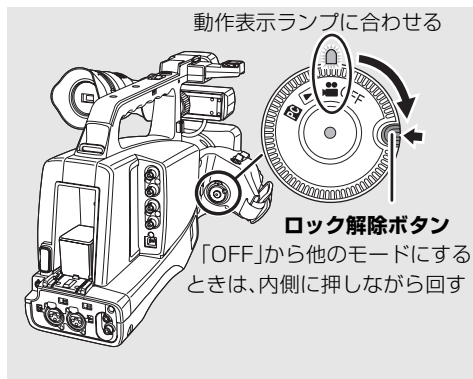
5. モードを選ぶ (電源を入れる / 切る)

モードダイヤルを回して、撮影・再生・PC 接続・電源「OFF」を切り換えます。

- モードダイヤルはゆっくり回してください。

電源を入れる

ロック解除ボタンを押しながら、モードダイヤルを 、 または  に合わせる

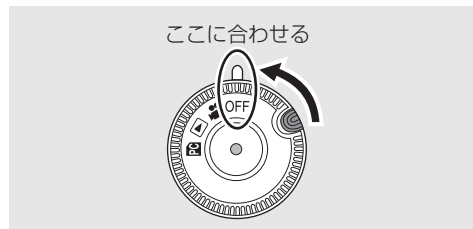


動作表示ランプが点灯し、電源が入ります。

- 「時計を設定してください。」が表示されたときは時計を合わせてください。(P44)




電源を切る

モードダイヤルを「OFF」に合わせる



動作表示ランプが消灯し、電源が切れます。

はじめに

	撮影モード (P48、51)	SD カードにビデオや写真を記録します。
	再生モード (P69、74)	SD カードに記録されたビデオや写真を再生します。
	PC 接続モード (P97)	HD Writer Ver2.5 などを使って、パソコンで SD カードに記録されたビデオや写真を取り込んだりするときに使います。
OFF		電源が切れます。

ノート

- モードダイヤルは無理に回さないでください。
- 電源を切ってから、再度電源を入れる場合は、動作表示ランプの消灯を確認してから電源を入れてください。

6. SD カードを入れる / 出す

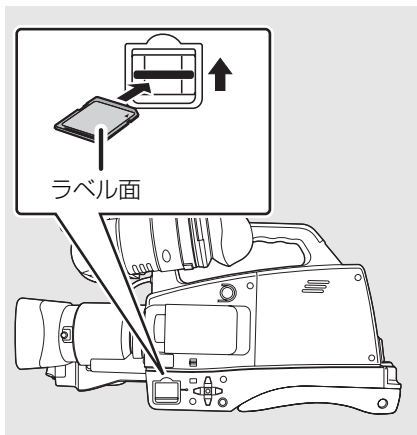
- SD カードの出し入れは、必ずモードダイヤルを「OFF」にしてから行ってください。

電源が入った状態でSDカードを出し入れすると、本機の誤動作やSDカード内のデータの破壊につながる恐れがあります。

1 モードダイヤルを「OFF」にする

- 動作表示ランプの消灯を確認してください。

2 カード扉を開き、カード挿入部にSDカードを入れる（出す）



- 入れるときはラベル面を図の方向に向けて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込む。
- 出すときは、SDカードの中央部を押し込んで、まっすぐ引き抜く。

3 カード扉を閉じる

■SDカードについて

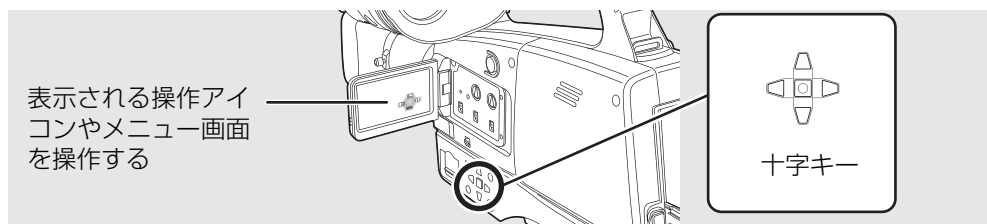
- SDカードの裏の接続端子部分に触れないでください。
- 電気ノイズや静電気、本機やSDカードの故障などによりSDカードのデータが壊れたり、消失することがありますので、大切なデータは、付属のHD Writer Ver2.5などを使って、事前にパソコンに保存しておいてください。（P101）
（本機で撮影したビデオを取り込むときは、HD Writer Ver2.5 を使って取り込むことをおすすめします）
- データの書き込みを繰り返したSDカードをお使いの場合、ビデオの残り撮影可能時間が短くなることがあります。（P49）

■カード動作中ランプについて

- カードアクセス（認識、記録、再生、削除など）中に点灯します。
- 点灯中に下記の動作を行わないでください。
SDカードやSDカードの内容が破壊されたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
 - － カード扉を開けてSDカードを抜く
 - － モードダイヤルを操作する
 - － バッテリーやACアダプターを外す

7. 十字キーの使いかた

十字キーを使って、撮影機能の選択や再生操作などが片手で簡単に行えます。



表示される操作アイコンやメニュー画面を操作する



十字キー

はじめに

基本操作について

メニュー画面の操作やサムネイル表示でのシーン選択などを行います。



上下左右で選択



中央で決定

十字キーの上下左右を動かして項目やシーンを選択し、中央を押して決定する

- メニュー画面の操作について (P42)

撮影機能を使う

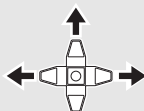
- モードダイヤルを に合わせる

1 十字キーの中央を押して、画面に操作アイコンを表示させる



- もう一度、十字キーの中央を押すと表示が消えます。
- 十字キーの下を押すごとに表示が切り換わります。

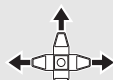
2 十字キーの上左右を押して選ぶ



再生する

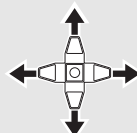
- モードダイヤルを に合わせる

1 十字キーで再生するシーンを選び、中央を押して決定する



選んだシーンが全画面で再生され、操作アイコンが自動的に表示されます。

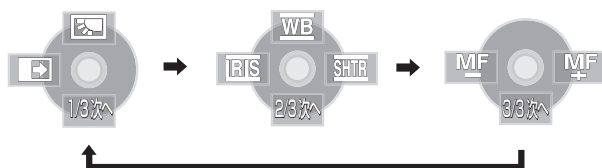
2 十字キーの上下左右を押して操作する



- 十字キーの中央を押すと操作アイコンの表示 / 非表示の切り換えができます。

モードごとの操作アイコンについて

👤 撮影モード



アイコン	十字キーボタン	機能	ページ
	▲	逆光補正	57
	◀	フェード	58

オート/マニュアル切換えスイッチをマニュアル [MANUAL] にした場合

マニュアル [MANUAL] 時		▲	白バランス	66
		◀	明るさ (絞り・ゲイン)	68
		▶	シャッター速度	68

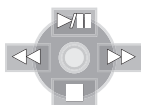
オート/マニュアル切換えスイッチをマニュアル [MANUAL] からフォーカス [FOCUS] にした場合

マニュアルフォーカス [FOCUS] 時		◀▶	マニュアルフォーカス	65
-------------------------	--	----	------------	----

- オート [AUTO]/ マニュアル [MANUAL] の切り換えについて (P41)

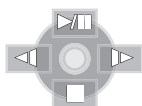
▶ 再生モード

(👤 ビデオ再生時)



アイコン	十字キーボタン	機能	ページ
	▲	再生 / 一時停止	69
	▼	停止してサムネイル表示に戻る	69
	◀	早戻し (再生中)	69
		逆スロー、逆コマ送り (一時停止中)	70
	▶	早送り (再生中)	69
		スロー、コマ送り (一時停止中)	70

▶ 再生モード
(📷 写真再生時)

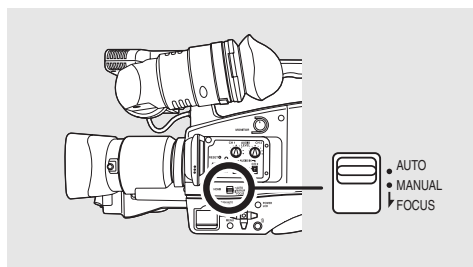


アイコン	十字キーボタン	機能	ページ
▶	▲	スライドショーの開始 / 一時停止	74
■	▼	停止してサムネイル表示に戻る	74
◀	◀	前の写真を表示 (一時停止中)	74
▶	▶	次の写真を表示 (一時停止中)	74

はじめに

■ オートモードについて

オート / マニュアル切換えスイッチをオート [AUTO] にすると、自動で色合い (白バランス) やピント (フォーカス) が合います。



- オートホワイトバランス (P118)
- オートフォーカス (P118)

また、被写体の明るさなどによって、絞りとシャッター速度で明るさが自動的に調整されます。(撮影モード時、シャッター速度は最大 1/250 まで)

- 光源や撮る場面によっては、色合いやピントが自動では合いません。この場合は、手動 (マニュアル) で調整してください。
 - シーンモード (P64)
 - 白バランス (P66)
 - シャッター速度 (P68)
 - 絞り・ゲイン値 (P68)
 - マニュアルフォーカス (P65)

8. メニューを設定する

- 各メニューについては「メニュー一覧」(P104)をご覧ください。

1 停止中、メニューボタンを押す



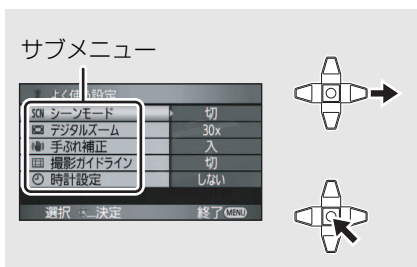
メニュー設定画面が表示されます。
(モードダイヤルの位置によって、表示されるメニューは変わります)

- メニュー表示中はモードダイヤルを切り換ええないでください。

2 十字キーの上下でトップメニューを選ぶ

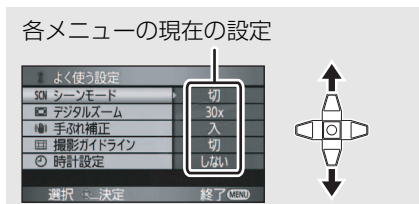


3 十字キーの右を押す、または中央を押す

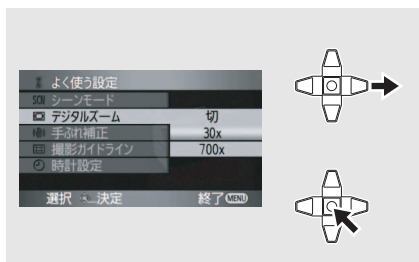


サブメニューが表示されます。

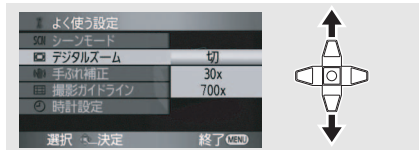
4 十字キーの上下でサブメニューを選ぶ



5 十字キーの右を押す、または中央を押す



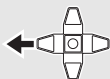
6 十字キーの上下で項目を選ぶ



7 中央を押して決定する



【前の画面に戻るには】



十字キーの左を押す

【メニューの設定を終了するには】



メニューボタンを押す

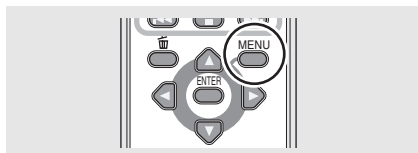
 ノート

- 撮影中や再生中にメニューは表示されません。また、メニュー表示中に他の操作はできません。

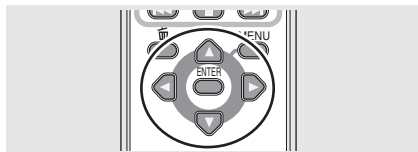
ワイヤレスリモコンで操作する

メニュー画面の変化は本体のボタンを使ったときと同じです。

1 メニューボタンを押す

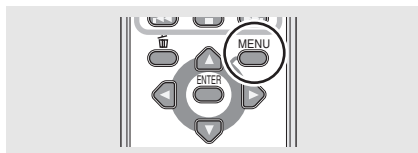


2 メニュー項目を選ぶ



- 本体の十字キーの代わりに方向ボタン(▲▼◀▶)、決定ボタンを使います。


3 メニューボタンを押して設定を終了する



9. 時計設定

電源を入れたとき、「時計を設定してください。」というメッセージが表示される場合があります。十字キーの上下で「はい」を選んで中央を押し、下記手順2からのメニュー操作で時計設定をしてください。

■ 時計設定を変更する場合

- モードダイヤルを  に合わせる

1 メニューを設定する (P42)

「よく使う設定」→「時計設定」→「する」

2 十字キーの左右で合わせる項目 (年 / 月 / 日 / 時 / 分) を選び、上下で数字を合わせる



- 年は 2000 → 2001 → … → 2039 → 2000 と変わります。
- 時間は 24 時間表示です。

3 十字キーの中央を押し決定する

- 決定すると秒が 0 から始まります。
- メニューボタンを押して設定を終了したあと、日時表示を確認してください。

【年月日・時刻の表示を切り換えるには】

メニューを設定する (P42) :
「セットアップ」→「日時表示」→
希望の表示

- ワイヤレスリモコンの年月日/時刻ボタンでも切り換えられます。

日付	日時	切
2008.12.15	2008.12.15 15:30	

【表示スタイルを切り換えるには】

メニューを設定する (P42) :
「セットアップ」→「表示スタイル」→
希望の表示

表示スタイル	画面表示
年 / 月 / 日	2008.12.15
月 / 日 / 年	12 15 2008
日 / 月 / 年	15.12.2008

ノート -----

- 時計設定は、内蔵日付用電池を使って記憶させています。
- 撮影前には、時計が合っているか確認してください。
- 時刻表示が「—」のときは、内蔵日付用電池が消耗しています。下記の方法で充電したあと、時計を設定してください。

内蔵日付用電池を充電するには：

- 本機にACアダプターをつなぐかバッテリーを取り付けると、内蔵電池が充電されます。約24時間そのままにしておくと、約6カ月間時計設定を記憶することができます。(モードダイヤルが「OFF」になっても充電はされています)

10. 言語設定

画面に表示される言語を変更できます。

メニューを設定する (P42)

ランゲージ
「LANGUAGE」 →
「日本語」または「English」(英語)



はじめに

11. 液晶モニター / ファインダーを調整する

液晶モニター / ファインダーの明るさや色の濃さを調整する

1 メニューを設定する (P42)

「セットアップ」→「液晶調整」または
「セットアップ」→「EVF 明るさ」
→「する」

- EVF = ファインダー
エレクトリック ビュー ファインダー
(Electric View Finder) のことです。

2 調整する項目を十字キーの上下で選択し、中央で決定し左右で調整する



バー表示が移動します。

- 調整終了後、約 2 秒間操作しないとバー表示が消えます。
- 設定を終了するときはメニューボタンを押してください。

「液晶調整」の項目

明るさ : 液晶モニターの明るさ
色レベル: 液晶モニターの色の濃さ

「EVF 明るさ」の項目

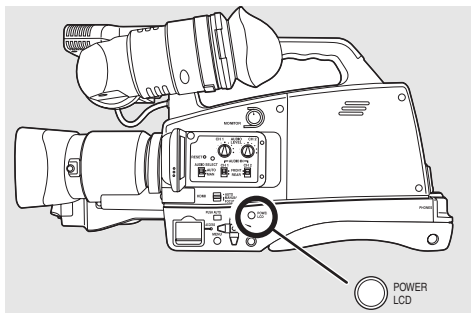
明るさ : ファインダーの明るさ

📖 ノート -----

- ファインダーの明るさを調整するときは、液晶モニターを閉じてください。
- 液晶モニターを開けた状態では、ファインダーにも「液晶調整」の設定が反映されます。
- 調整内容は、実際に記録される映像には影響しません。

■ 液晶モニター全体を明るくするには

パワー
POWER LCD ボタンを押す



「☼」が液晶モニターに表示されます。

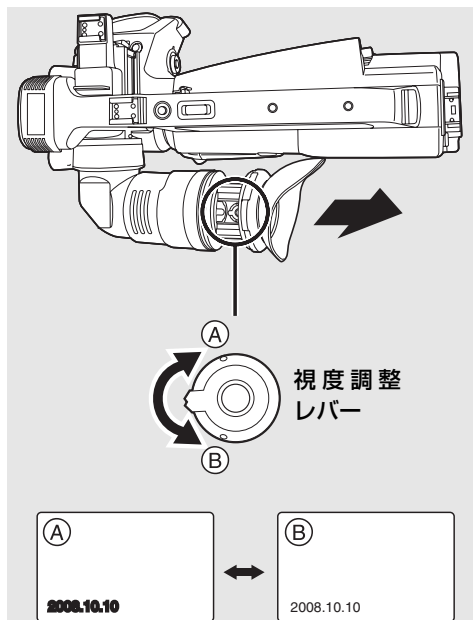
- 周囲が明るく液晶モニターが見にくい場合は、POWER LCD ボタンを押してください。液晶モニターが通常より約 2 倍明るくなり、見やすくなります。
- LCD = 液晶モニター
リキッド クリスタル ディスプレイ
(Liquid Crystal Display) のことです。

📖 ノート -----

- 再度押すと「☼」が消え、元に戻ります。
- 実際に記録される映像には影響しません。
- AC アダプター使用時は、電源を入れると自動的に「☼」が表示され、画面が明るくなります。
- PC 接続モードでは操作できません。

ファインダーの画像の見えかたを調整する

ファインダーを引っ張って内部の視度調整レバーを出し、レバーを動かして調整する



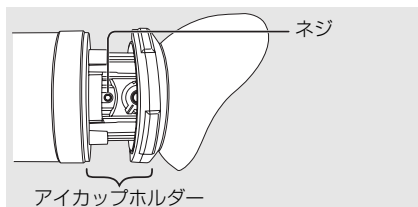
- 視度調整レバーを操作してファインダー内の映像の焦点を合わせることができます。

ファインダーのお手入れ

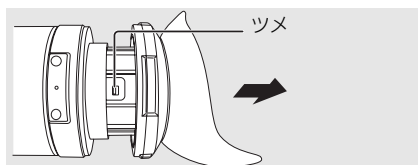
ファインダーの内部にホコリが付着した場合、アイカップホルダーを取り外し、エアブローなどで除去してください。

■ アイカップホルダーの取り外し方

- ① ファインダーを引っ張ってアイカップホルダーを引き出し、中央のネジを外す

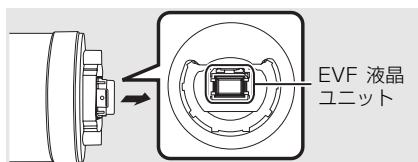


- ② アイカップホルダーの下面の穴にドライバーなどの細いものを差し込んで内部のツメを奥に押しつつ、アイカップホルダーを引き抜く

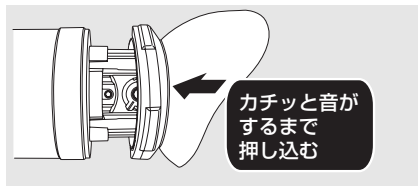


■ アイカップホルダーの取り付け方

- ① EVF 液晶ユニットが一番手前まで引き出されていることを確認する



- EVF 液晶ユニットを奥に押し込むと取り付けられなくなるおそれがあります。
- ② アイカップホルダーをまっすぐ元通り差し込み、カチッと音がするまで押し込む



- ③ ネジをとめる

1. ビデオを撮影する

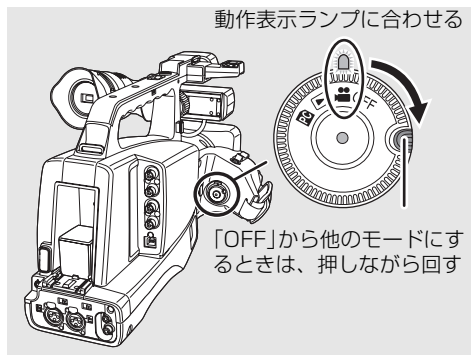
ビデオ

SD カードにビデオを記録します。

- ビデオ撮影に使用可能な SD カードをお使いください。(P31)
- 本機はワイドテレビの画面比率 (16 : 9) に対応した、ハイビジョン映像で記録します。

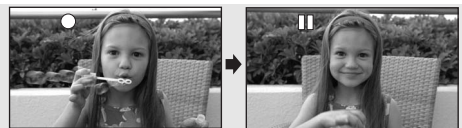
1 モードダイヤルを に合わせる

動作表示ランプに合わせる



【撮影を終わるには】

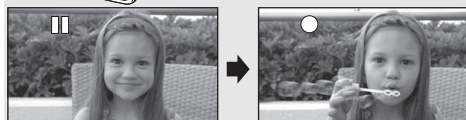
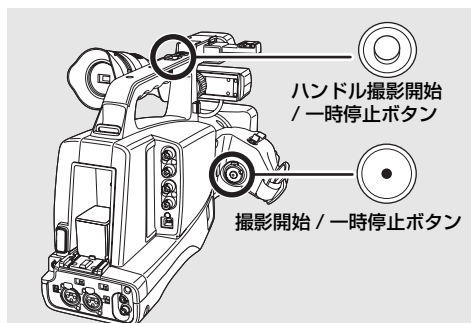
撮影開始 / 一時停止ボタンをもう 1 度押す



- 「●」「||」が赤色表示のときは記録中ですの
で、「||」が緑色表示になるまでは本機を動
かさなてください。
- 撮影を開始してから停止するまでが 1 シー
ンとして記録されます。
- バッテリー使用時にパワーセーブを「5分」
に設定し、一時停止状態で約 5 分間操作し
なかった場合、バッテリーの消耗を防ぐた
め、自動的に電源が切れます。再度お使いに
なるときは、電源を入れ直してください。
この設定は、「切」にすることもできます。
(P106、パワーセーブ)

2 液晶モニターを開く

3 撮影開始 / 一時停止ボタンまたはハ ンドル撮影開始 / 一時停止ボタンを 押して撮影を始める



■ 撮影時の画面表示について



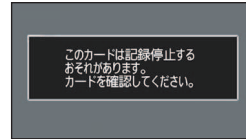
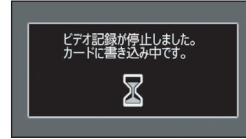
- ① 記録モード
- ② 残り撮影可能時間
(残りが1分未満になると、「残0分」が赤色点滅します)
- ③ 撮影の経過時間

ノート

- シーンの最大記録数：990 (SD カードの容量が残っていても、990 シーン撮影できない場合があります)
- 日付別の最大記録数：99
(同じ日に撮影されたシーンでも、日付が分かれて記録される場合があります (P72))
- シーンまたは日付別の最大記録数を超えた SD カードは本機では使用できません。
- 音声は本機の上面にある内蔵マイクから録音されます。ふさがないようにお気をつけください。
- 外部マイクを外部マイク入力端子やオーディオXLR入力端子に抜き差しする場合は、一時停止状態で行ってください。記録中に外部マイクを抜き差しすると正常な音声で記録できなくなります。
- 撮影の経過時間表示は、記録一時停止ごとに 0h00m00s に戻ります。
- ビデオ撮影中にバッテリーや AC アダプターを外したり、カード動作中ランプ点灯中に SD カードを抜かないでください。このような操作をした場合、次にその SD カードを入れたり、電源を入れ直したときに、シーンの修復メッセージが表示され修復が行われます。(P110)

■ ビデオ撮影中に突然記録が停止した場合

ビデオ撮影に使用可能な SD カード (P31) 以外を使用すると下記メッセージが表示され突然記録が停止することがあります。ビデオを撮影するときは、ビデオ撮影に使用可能な SD カード (P31) をお使いください。



撮影する


ビデオ撮影に使用可能な SD カード (P31) をお使いの場合でもこのようなメッセージが表示されるときは

データの書き込みを繰り返して、データ書き込み速度が低下しています。使用している SD カードをフォーマットすることをおすすめします。(P81) フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータが消去されますので、大切なデータは事前にパソコンに保存しておいてください。(P101) (本機で撮影したデータを取り込むときは、HD Writer Ver2.5 などを使って取り込むことをおすすめします (P92))

2. 記録モード / 記録可能時間

ビデオ

記録するビデオの画質を切り換えます。

- モードダイヤルを  に合わせる

メニューを設定する (P42)

「ビデオ設定」→「記録モード」→希望の画質

当社製 SD カード 1 枚あたりの記録時間のめやす

SD カードの容量	HF (高画質モード)	HN (標準モード)	HE (長時間モード)
256 MB	約 2 分	約 3 分	約 5 分
512 MB	約 5 分	約 7 分	約 10 分
1 GB	約 10 分	約 15 分	約 22 分
2 GB	約 20 分	約 30 分	約 45 分
4 GB	約 40 分	約 1 時間	約 1 時間 30 分
8 GB	約 80 分	約 2 時間	約 3 時間
16 GB	約 160 分	約 4 時間	約 6 時間

高画質モード：

高画質で撮影することができます。

標準モード：

標準の画質で撮影することができます。

長時間モード：

より長時間撮影することができます。

- どのモードで記録してもハイビジョン画質で撮影されます。
- HF モードは CBR 記録方式を採用しています。CBR とは Constant Bit Rate (固定ビットレート) の略で、ビットレート (一定時間あたりのデータ量) が変わらない記録方式です。
- HN モード / HE モードは VBR 記録方式を採用しています。VBR とは Variable Bit Rate (可変ビットレート) の略で、撮影する被写体により、ビットレート (一定時間あたりのデータ量) が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合は、記録時間は短くなります。

ノート

- バッテリーを使って撮影できる時間について (P35)
- 8 MB および 16 MB の SD カードではビデオ撮影できません。
- SD カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは記録できません。(P31)
- 1 枚の SD カードで記録や削除を繰り返すと、SD カードに容量が残っていてもビデオ撮影できなくなる場合があります。この場合、パソコンにデータを保存したあと SD カードをフォーマットしてください。

以下のような撮影条件では、再生画面にモザイク状のノイズが出る場合があります。

- 背景に複雑な絵柄がある場合
- 本機を大きくまたは速く動かした場合
- 動きの激しい被写体を撮影した場合 (特に記録モードを「HE」に設定しての撮影時)

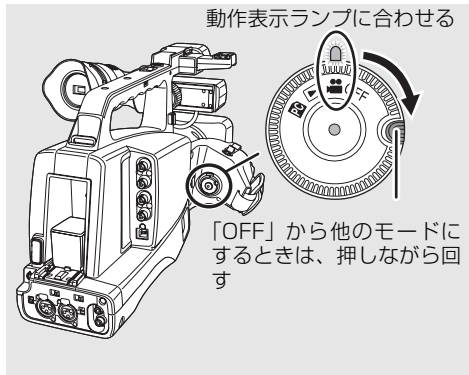
1. 写真 (JPEG (ジェイペグ) 静止画) を撮影する

写真

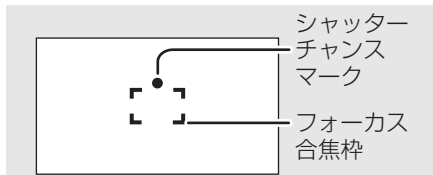
SD カードに写真を記録します。

- 写真の記録画素数はワイドテレビの画面比率 (16 : 9) に対応した、「1920×1080」で記録します。

1 モードダイヤルを に合わせる



シャッターチャンスマーク：

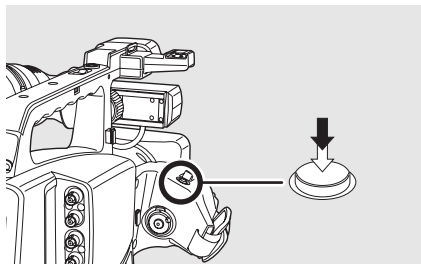


- (白点滅)：ピント合わせ中
- (緑点灯)：ピントが合ったとき
- マークなし：ピントが合わなかったとき

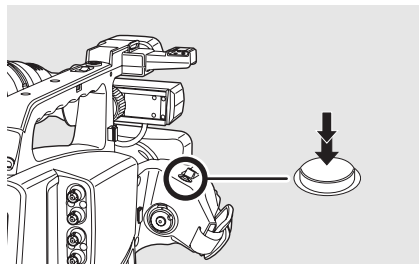
撮影する

2 液晶モニターを開く

3 (オートフォーカス時のみ) フォトショットボタンを半押し (浅く押す) してピントを合わせる



4 フォトショットボタンを全押し (下まで押す) して撮影する



- よりきれいな写真を記録するため、写真記録中は画面が明るくなります。

シャッタースピードと絞り・ゲイン値が表示され、自動でピントを合わせます。

- 手ぶれ補正 (P59) を「入」に設定していると、手ぶれ補正の効果が高くなります。
[[MEGA]] (MEGA OIS) 表示が出ます

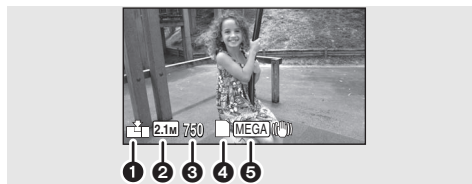
【写真をきれいに撮影するには】

- 4倍以上の高倍率ズーム時は、手持ちによる撮影で微妙なぶれを抑えるのは難しくなりますので、ズーム倍率を低くして被写体に近づいて撮ることをおすすめします。
- 三脚・リモコンを使うと、手ぶれのない画像を撮影することができます。

📄 ノート -----

- SDカードへの記録可能枚数について (P54)
- 音声は記録できません。
- SDカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは記録できません。
- リモコンでは、フォトショットボタンの半押しはできません。
- 「写真画質」を「L」に設定して撮影すると、被写体によっては画像がモザイク状になることがあります。
- SDカードにアクセス中(🔍表示中/カード動作中ランプ点灯中)は、下記の動作を行わないでください。SDカードやSDカードの内容が破壊されることがあります。
 - ー 本機の電源を切る
 - ー カード扉を開けてSDカードを抜く
 - ー モードダイヤルを操作する
- 本機で記録した写真を他の機器で再生すると、画質が悪くなったり、再生できない場合があります。
- 本機で記録した横縦比 16:9の写真は、プリント時に端が切れることがあります。お店やプリンターなどでプリントする場合は事前にご確認ください。

■ フォトショット半押し時にのみ表示される画面について



- ① 写真画質
- ② 記録画素数
- ③ 残り記録可能枚数 (「0」になると赤色点滅します)
- ④ カード表示 (P107)
- ⑤ MEGA OIS (P51)

■ シャッターチャンスマークについて

- マニュアルフォーカス時は、シャッターチャンスマークは出ません。
- 自動でピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスで合わせてください。(P65)
- シャッターチャンスマークが出なくても撮影は可能です。ただし、ピントが合わずに記録される場合があります。
- 以下のような場合は、シャッターチャンスマークが表示されない、または表示されにくくなります。
 - ー ズーム倍率が高い
 - ー 手ぶれが大きい
 - ー 被写体が動いている
 - ー 逆光のとき
 - ー 遠近が共存している場面
 - ー 低照度で暗い場面
 - ー 明るい部分が入っている場面
 - ー 横線しかない場面
 - ー コントラストが少ない場面
 - ー ビデオ撮影中

■ フォーカス合焦枠について



コントラストの高いもの（柵など）にピンポイントが合うので被写体がぼける。

フォーカス合焦枠

フォーカス合焦枠から外すとピンポイントが合いません。



少し画面をずらす。

または



少しズームインする
または被写体に近づく。

フォーカス合焦枠内で被写体の前後にコントラストの高いものがあると、被写体にピンポイントが合わない（合焦しない）場合があります。このときは、コントラストの高いものをフォーカス合焦枠から外してください。

- それでもピンポイントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスで調整してください。（P65）
- デジタルズーム（約 12 倍以上使用時）では、フォーカス合焦枠は表示されません。

シャッター効果音を入 / 切するには

写真撮影時にシャッター音を出すかどうかを設定できます。

メニューを設定する（P42）：
「写真設定」→「シャッター効果」→
「入」または「切」



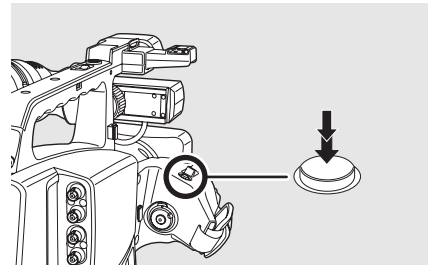
ノート

- お買い上げ時は「入」に設定されています。
- ビデオ撮影中は動きません。

同時記録（ビデオ撮影中に 写真を記録）について

ビデオを撮影中でも、写真を記録できます。

ビデオ撮影中に、フォトショットボタンを全押し（下まで押し）して撮影する



ノート

- フォトショットボタンの半押しは動きません。
- フォトショット半押し時にもみ表示される画面（P52）は表示されますが、残り記録可能枚数は表示されません。
- ビデオ撮影を優先するため、通常の写真撮影時と画質が異なります。より高画質な写真を撮影するには、ビデオ撮影の一時停止中に撮ることをおすすめします。



2. 写真画質 / 記録可能枚数

写真

写真画質

記録する画質を切り換えます。



メニューを設定する (P42) :
「写真設定」 → 「写真画質」 → 希望の画質

-  : 高画質な写真を記録します。
-  : 記録枚数を優先し、標準画質で記録します。

SD カードへの記録可能枚数

■ 写真画質と記録可能枚数


記録画素数	2.1M (1920×1080)	
写真画質		
8 MB	約 4 枚	約 6 枚
16 MB	約 10 枚	約 17 枚
32 MB	約 20 枚	約 32 枚
64 MB	約 47 枚	約 74 枚
128 MB	約 94 枚	約 150 枚
256 MB	約 200 枚	約 320 枚
512 MB	約 410 枚	約 640 枚
1 GB	約 820 枚	約 1290 枚
2 GB	約 1670 枚	約 2630 枚
4 GB	約 3290 枚	約 5160 枚
8 GB	約 6690 枚	約 10520 枚
16 GB	約 13470 枚	約 21170 枚

- 「」、「」が混在している場合や撮影される被写体によっては、写真の記録可能枚数は変動します。

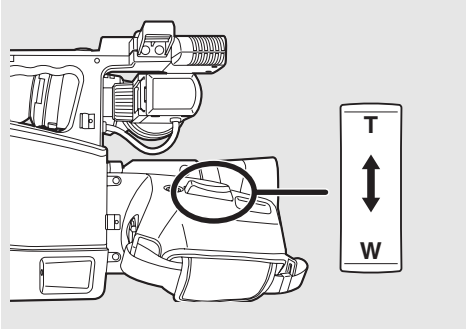
1.ズーム

ビデオ 写真

グリップズームボタンあるいはハンドルズームボタンでズーム操作ができます。
光学で最大 12 倍まで拡大できます。

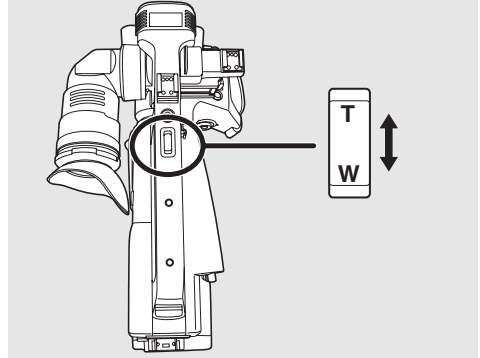
- モードダイヤルを  に合わせる

グリップズームボタンで操作する



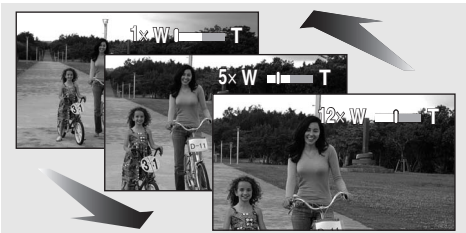
T側：大きく撮る（ズームイン：拡大）
W側：広く撮る（ズームアウト：広角）

ハンドルズームボタンで操作する



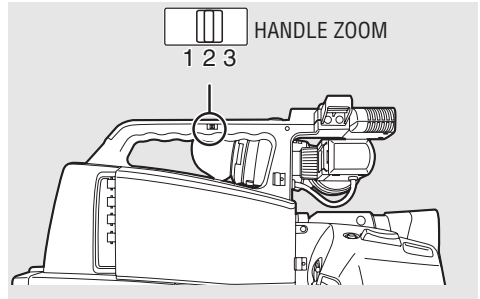
T側：大きく撮る（ズームイン：拡大）
W側：広く撮る（ズームアウト：広角）

撮影する



- グリップズームボタンを動かす幅によって、ズーム速度が変わります。

- ズーム速度は、ハンドルズームスイッチで3段階に切り替えることができます。



- 1：低速
- 2：中速
- 3：高速

 **ノート** -----

- ズーム操作中にズームボタンから指を離すと、操作音が記録されることがあります。ボタンを元の位置に戻すときは、静かに戻してください。
- 本機を手に持ってズームインで撮影するときは、手ぶれ補正機能を使うことをおすすめします。(P59)
- ズーム倍率を大きくしているときは、約 1.2 m 以上でピントが合います。
- ズームボタンを最後まで押し込むと、最速約 1.8 秒で 1 ～ 12 倍までズームできます。
- ズーム速度が速いと、ピントが合わないことがあります。

デジタルズーム

ズーム倍率が 12 倍より大きくなると、デジタルズームになります。デジタルズームの倍率の最大値を切り換えられます。

メニューを設定する (P42)

「よく使う設定」→「デジタルズーム」→
希望の倍率

切 : 光学ズームのみ (最大 12 倍まで)

30x : デジタルズーム (最大 30 倍まで)

700x : デジタルズーム (最大 700 倍まで)

- 30x、700x のときは、ズーム動作中にデジタルズームの領域が青色で表示されます。

 **ノート** -----

- ズーム倍率を大きくするほど画質は粗くなります。

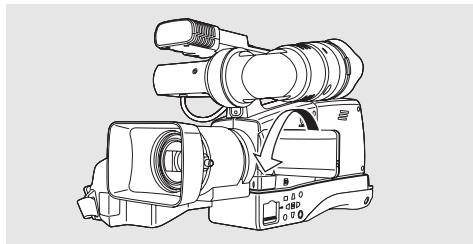
2. 対面撮影

ビデオ 写真

液晶モニターをレンズ側に回転させると、液晶モニターに映る画像が鏡のように左右反転します。(記録される映像は通常どおりです)

- モードダイヤルを  に合わせる

液晶モニターを手前（レンズ側）に回転させる



ノート


- 対面撮影時は、十字キーを押しても操作アイコンは表示されません。
- 対面撮影時は、画面表示は一部だけになります。[!] が表示されたときは、液晶モニターを通常撮影方向に回転させて、警告表示内容を確認してください。(P109)

3. 逆光補正

逆光で人物などが暗くなるのを防ぐ

ビデオ 写真

被写体に後ろ側から光が当たり、暗く映るときにお使いください。

- モードダイヤルを  に合わせる

1 図の操作アイコンを表示させる (P39)



2 十字キーの上を押して、「」を選ぶ



画面の映像が明るくなります。

【逆光補正を解除するには】

もう一度、「」を選ぶ

ノート

- 電源を切るかモードダイヤルを操作すると解除されます。

撮影する

4. フェード

ビデオ

フェードイン : 映像と音声を徐々に現す
 フェードアウト: 映像と音声を徐々に消す

- モードダイヤルを に合わせる

1 図の操作アイコンを表示させる (P39)



2 十字キーの左を押して、「▶」を選ぶ

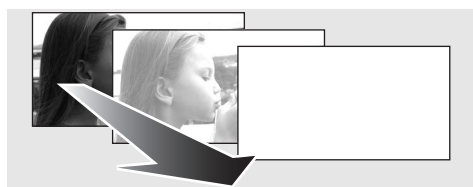


3 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して、撮影を開始する(フェードイン)



記録を始めると、映像 / 音声が完全に消えたあと、映像 / 音声が少しずつ現れます。

4 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して、撮影を一時停止する(フェードアウト)



映像 / 音声が少しずつ消えていき、完全に映像 / 音声が消えたあと、記録が停止します。

- 記録後、フェード設定は解除されます。

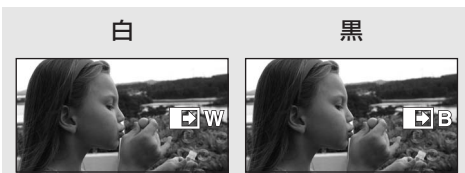
【フェードを解除するには】

もう一度、「▶」を選ぶ

フェードする画面の色を選ぶには

フェードするときの色を変更することができます。

メニューを設定する (P42) :
 「ビデオ設定」 → 「フェード色」 →
 「白」または「黒」



画面の表示が変わります。

ノート -----

- 電源を切ると解除されます。
- フェードイン時は、撮影を開始してから映像が現れるまで数秒かかります。フェードアウト時は、撮影開始 / 一時停止ボタンを押してから撮影が終了するまで数秒かかります。
- フェードインで撮影した映像は、再生時のサムネイル表示が白一色 (または黒一色) になります。

5. 手ぶれ補正

ぶれを少なくして撮る

ビデオ 写真

撮影時に起こる手ぶれによる映像の揺れを軽減します。

- モードダイヤルを に合わせる

メニューを設定する (P42)

「よく使う設定」→「手ぶれ補正」→「入」

【手ぶれ補正を解除するには】

メニューを設定する (P42) :

「よく使う設定」→「手ぶれ補正」→「切」

ノート -----

- お買い上げ時は「入」に設定されています。
- 写真撮影時は、フォトショットボタンを半押しすると、手ぶれ補正の効果が高くなります。(MEGA OIS)
- ぶれが大きいときや、動きのある被写体を追いながら撮影した場合、補正できないことがあります。
- 以下の場合、手ぶれ補正が効きにくくなる場合があります。
 - ー デジタルズーム使用時

6. ガイドライン

映像の傾きやバランス、構図を確認しながら、撮影 / 再生する

ビデオ 写真

撮影時または再生時に、映像が水平になっているか確認することができます。構図のバランスを見るめやすにしたり、縦横比が4:3のテレビにおける表示領域を確認することもできます。

- モードダイヤルを に合わせる
または
モードダイヤルを に合わせて「」(ビデオ再生) タブを選ぶ (P69)

メニューを設定する (P42)

「よく使う設定」→「撮影ガイドライン」

→希望の設定

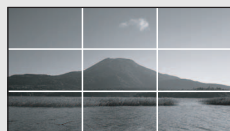
または「再生設定」→「再生ガイドライン」

→希望の設定

水平ガイド



格子



4:3



【ガイドラインを解除するには】

メニューを設定する (P42) :

「よく使う設定」→「撮影ガイドライン」→「切」

または「再生設定」→「再生ガイドライン」→「切」

ノート -----

- ガイドラインは実際に記録される映像には表示されません。

7. ゼブラ表示

明るすぎる部分を表示する

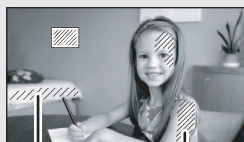
ビデオ 写真

白とび（色とび）の起こりそうな部分（極端に明るい場所、光っている場所）を斜線（ゼブラパターン）で表示します。

- モードダイヤルを  に合わせる

メニューを設定する (P42)

「お好み設定」→「ゼブラ」→「入」



ゼブラパターン

- 白とびさせたくない部分にゼブラパターンが表示されなくなるように、マニュアルでシャッター速度や明るさ（絞り / ゲイン）(P68) を調整すると、白とびの少ない映像を撮影できます。

【ゼブラ表示を解除するには】

メニューを設定する (P42) :
「お好み設定」→「ゼブラ」→「切」

 ノート -----

- ゼブラパターンは実際に記録される映像には影響しません。

8. カラーバー

カラーバーを表示して色調を確認する

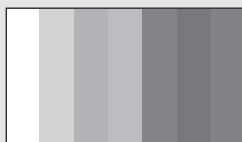
ビデオ 写真

テレビや外部モニターの画質調整に便利な7色のバーを表示します。

- モードダイヤルを  に合わせる

メニューを設定する (P42)

「お好み設定」→「カラーバー」→「入」



【元に戻すには】

メニューを設定する (P42) :
「お好み設定」→「カラーバー」→「切」

 ノート -----

- 電源を切ると解除されます。
- 十字キーを押しても操作アイコンは表示されません。

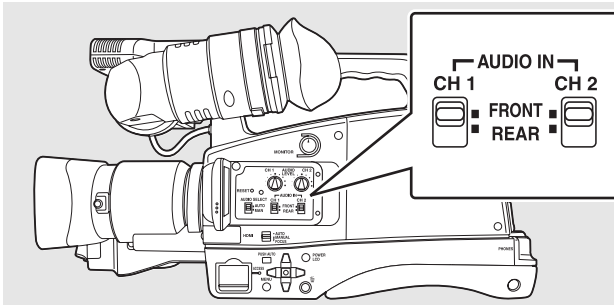
9. 音声入力選択

撮影時は2チャンネルの音声を記録することができます。また設定により、それぞれのチャンネルに記録する入力音声を、内蔵マイク、マイクロホン（別売品）、および XLR CH1/CH2 端子に接続したマイクロホンやオーディオ機器から選択することができます。（下表参照）

設定 / 状態			記録チャンネル	
AUDIO IN CH1 スイッチ	AUDIO IN CH2 スイッチ	外部マイク	CH1	CH2
FRONT	FRONT	未挿入	内蔵マイク Lch	内蔵マイク Rch
FRONT	FRONT	挿入	外部マイク Lch	外部マイク Rch
REAR	REAR	※	XLR CH1	XLR CH2
FRONT	REAR	未挿入	内蔵マイク Lch	XLR CH2
FRONT	REAR	挿入	外部マイク Lch	XLR CH2
REAR	FRONT	未挿入	XLR CH1	内蔵マイク Rch
REAR	FRONT	挿入	XLR CH1	外部マイク Rch

※本設定では外部マイクの挿入 / 未挿入の状態は記録チャンネルに影響しません。

内蔵マイク / 外部マイク（3.5 mm ステレオミニジャック）を使う



■ AUDIO IN CH1 スイッチを FRONT の位置にする

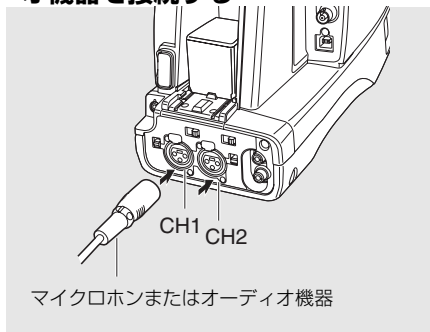
マイクロホンが外部マイク入力端子に挿入されていないときは内蔵マイク Lch の音声を、マイクロホンが外部マイク入力端子に挿入されているときはマイクロホンの Lch の音声を記録します。

■ AUDIO IN CH2 スイッチを FRONT の位置にする

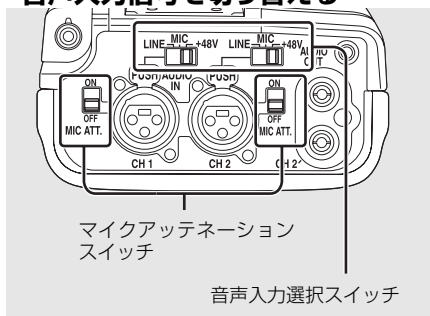
マイクロホンが外部マイク入力端子に挿入されていないときは内蔵マイク Rch の音声を、マイクロホンが外部マイク入力端子に挿入されているときはマイクロホンの Rch の音声を記録します。

XLR 端子に接続されたマイクロホンやオーディオ機器を使う

1 XLR CH1/CH2 端子(XLR 3ピン)にマイクロホンまたはオーディオ機器を接続する



2 音声入力選択スイッチで、接続した音声入力信号を切り替える



LINE: (オーディオ機器を接続した時に選択)

- 入力レベルは 0dBu です。

MIC: (外部マイクを接続した時に選択)

- 入力レベルは -50dBu / -60dBu です。
- マイクアッテネーションスイッチで入力レベルを切り替えることができます。マイクアッテネーションスイッチを ON にすると、入力レベルは -50dBu となります。但し、OFF に設定すると感度が高くなり、ノイズ等が記録される場合があります。

3 ファントムマイク(+48V 電源が必要なマイク)を使用する場合は音声入力選択スイッチを+48Vの位置にする

+48V: (ファントムマイクを接続した時)

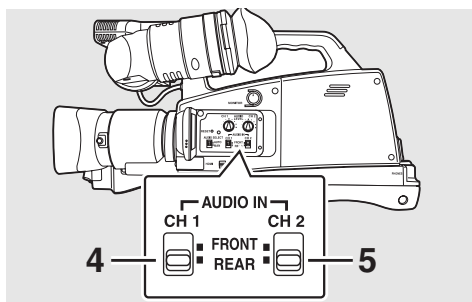
- XLR CH1/CH2 端子に+48V 電源を供給します。
- ファントムマイクを使用すると、バッテリーの持続時間が短くなります。
- +48V 電源に対応していない機器を接続する時は LINE または MIC の位置にしてください。+48V の位置にすると、接続した機器が故障する場合があります。

4 CH1 スイッチを REAR の位置にする

XLR CH1 端子に接続した機器の音声を記録します。

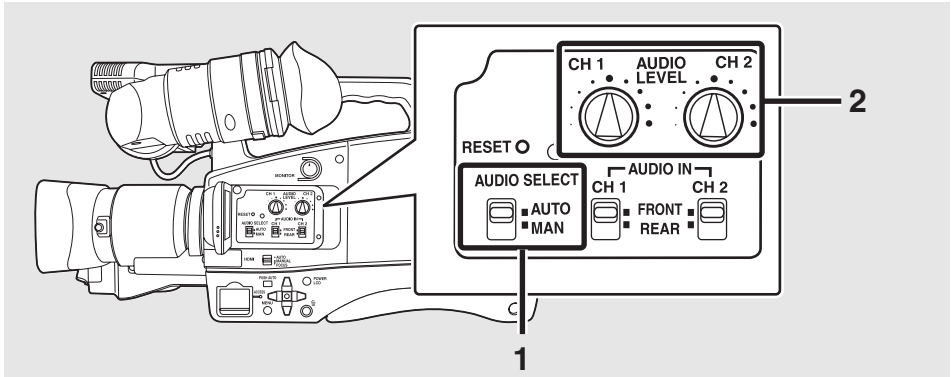
5 CH2 スイッチを REAR の位置にする

XLR CH2 端子に接続した機器の音声を記録します。



10. 音声記録レベル

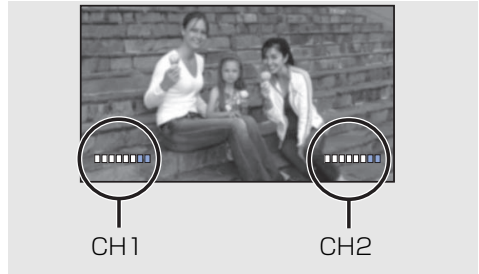
撮影時、音声信号の記録レベルを調整することができます。



1 AUDIO SELECT スイッチを MAN の位置にする

AUTO: ALC(Auto Level Control) が働き、過大レベルの音声が入力されたときに自動的に記録レベルを調整します。AUDIO LEVEL つまみによる音声記録レベルの調整はできません。

MAN: ALC (Auto Level Control) は働きません。AUDIO LEVEL つまみによる音声記録レベルの調整ができます。



【オーディオレベルメーターの表示設定】

メニューを設定する (P42) :
「ビデオ設定」→「レベルメーター」→希望の設定

ノート

- 過大入力が見込まれる場合には AUTO モードを使用してください。

2 AUDIO LEVEL つまみで記録レベルを調整する

- 音声記録レベルは、AUDIO LEVEL つまみで液晶モニターまたはビューファインダーの下に表示されるオーディオレベルメーターを参考に調整してください。

ノート

- オーディオレベルメーターが赤色表示されるときは、基準入力レベルに対して過大なレベルの音声が入力されています。AUDIO LEVEL つまみで音声記録レベルを調整してください。

1. シーンモード

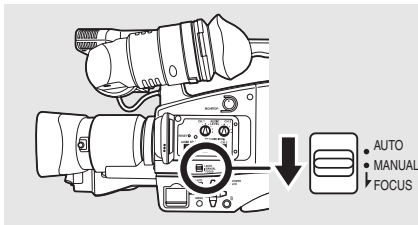
いろいろな場面で撮る

ビデオ 写真

撮りたい場面に合わせて、自動でシャッター速度や絞りが調整されます。

- モードダイヤルを  に合わせる

1 オート/マニュアル切換えスイッチをマニュアル [MANUAL] にする



2 メニューを設定する (P42)

「よく使う設定」→「シーンモード」→希望の設定

表示	モード	撮影条件
	スポーツ	スポーツシーンなど、動きの速い場面で
	ポートレート	背景をぼかして、手前の人物を引き立たせる
	ローライト	夕暮れなど、暗い場面で明るく
	スポットライト	スポットライトが当たった人物をきれいに
	サーフ&スノー	海辺やスキー場など、まぶしい場面で

【シーンモードを解除するには】


メニューを設定する (P42) :

「よく使う設定」→「シーンモード」→「切」

- オート/マニュアル切換えスイッチをオート [AUTO] にしても解除できます。

ノート

スポーツモード :

- 撮ったものをスロー再生したり、再生を一時停止したときに、ぶれの少ない映像になります。
- 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかなには見えません。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- 明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ることがあります。
- 明るさが足りない場合はスポーツモードが動きません。このときは、「」が点滅します。
- 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。

ポートレートモード :

- 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。このときはシーンモードを「切」にしてお使いください。

ローライトモード :

- 極端に暗い場面ではきれいに撮れないことがあります。

スポットライトモード :

- 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。また、周囲が極端に暗くなる場合があります。

サーフ&スノーモード :

- 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなる場合があります。

2. マニュアルフォーカス

手でピントを合わせる

ビデオ 写真

自動でピントが合いにくいときに調整してください。

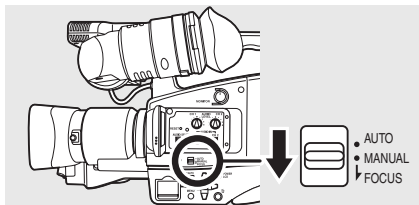
- モードダイヤルを  に合わせる

1 (MF アシストを使う場合) メニューを設定する (P42)

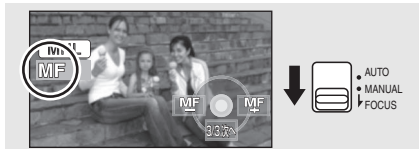
「お好み設定」→「MF アシスト」→「入」

- お買い上げ時は「入」に設定されています。

2 オート/マニュアル切換えスイッチをマニュアル [MANUAL] にする



3 オート/マニュアル切換えスイッチをフォーカス [FOCUS] の位置まで下に動かす



図の操作アイコンと、マニュアルフォーカス「MF」が表示されます。

4 十字キーの左右で、ピントを調整する



画面中央部が拡大表示されます。ピント調整操作後の約 2 秒後に通常表示に戻ります。

- MF アシストを「切」にすると、画面中央部は拡大表示されません。

【オートフォーカスに戻すには】

オート/マニュアル切換えスイッチをもう一度フォーカス [FOCUS] の位置まで下に動かす

- オート/マニュアル切換えスイッチをオート [AUTO] にしてもオートフォーカスに戻せます。

【ノート】

- 広角でピントを合わせると、拡大したときにピントが合っていないことがあります。拡大して合わせると、広角にしてもピントが合います。



撮影する

MF アシスト機能について

マニュアルフォーカス調整時に画面の中央部が拡大表示され、ピントが合わせやすくなります。

【ノート】

- ズーム倍率を 12 倍より大きくすると、MF アシストは働きません。
- 拡大表示は実際に記録される映像には表示されません。
- ゼブラ表示を「入」にしても、拡大表示にゼブラパターンは表示されません。

ワンプッシュオート機能について

PUSH AUTO



マニュアルフォーカス時に PUSH AUTO ボタンを押すと、押している間オートフォーカスで動作します。

3. 白バランス（ホワイトバランス）設定

自然な色合いにする

ビデオ 写真

光源などによって、色合いが自然でないときに、手動で設定してください。

- モードダイヤルを  に合わせる

1 オート/マニュアル切換えスイッチをマニュアル [MANUAL] にする








図の操作アイコンが自動的に表示されます。

2 十字キーの上を押して、「WB」を選ぶ



3 十字キーの左右で、白バランスのモードを選ぶ



表示	モード	撮影条件
	オート	—
	屋内 (白熱電球)	白熱電球、ハロゲンランプ
	屋外	屋外の晴天下
	蛍光灯	蛍光灯(当社のパルック蛍光灯など)
	セット	<ul style="list-style-type: none"> ● 水銀灯、ナトリウム灯、一部の蛍光灯 ● ホテルの結婚式場のライトや劇場のスポットライト ● 日没・日の出など

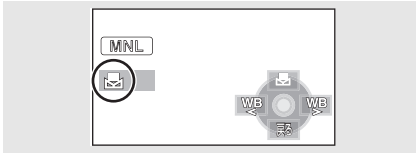
【自動設定に戻すには】

白バランスのモードをオートモード「AWB」にする

- オート/マニュアル切換えスイッチをオート[AUTO]にしても自動設定に戻せません。



手で白バランスの設定をするには

1 「」(セットモード)を選び、画面いっぱい白い被写体を映す

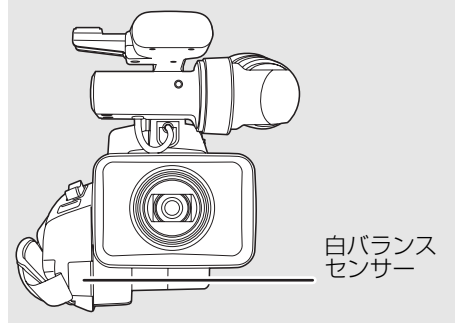


2 十字キーの上を押して「」を選ぶ



- 「」表示が点滅から点灯になると、設定完了です。
- 「」が点滅し続ける場合は、周囲が暗いなどの理由でセットモードでの設定ができません。このときは、オートモードを使ってください。

■白バランスセンサーについて



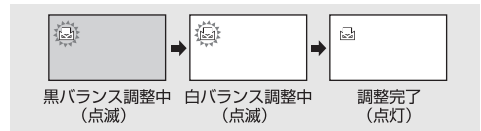
本機は撮影中、白バランスセンサーから光源の情報を得ています。

撮影時に白バランスセンサーを手などでふさがないでください。白バランスが正常に動きません。


撮影する

■黒バランスについて

3CCD システムの機能の 1 つで、白バランスをセットモードで設定したとき、自動的に黒の状態も合わせます。黒バランス調整時には、画面が一瞬黒くなります。(手動で黒バランスを調整することはできません)



ノート

- 「」が点滅している場合は、以前にセットモードで設定した内容が保持されています。撮影条件が変わった場合は、正確に合わせるために毎回設定し直してください。
- 白バランスと絞り・ゲインの両方を設定するときは、白バランスを設定したあとに、絞り・ゲインを設定してください。

4. シャッター速度 / 明るさ (絞り・ゲイン) 調整

ビデオ 写真

シャッター速度 : 動きの速いものを撮るときなどに調整してください。

絞り・ゲイン : 暗すぎる (明るすぎる) 場面で撮るときなどに調整してください。

● モードダイヤルを に合わせる

1 オート/マニュアル切換えスイッチをマニュアル [MANUAL] にする



図の操作アイコンが自動的に表示されます。

2 十字キーの左右を押して、「IRIS」(絞り・ゲイン) または「SHTR」(シャッター速度) を選ぶ

3 十字キーの左右で調整する



<シャッター速度の調整>

1/60, 1/100, 1/120, 1/180, 1/250, 1/350, 1/500, 1/750, 1/1000, 1/1500, 1/2000, 1/3000, 1/4000, 1/8000

● 1/8000 に近いほど、シャッター速度が速くなります。

<絞り・ゲイン値の調整>

CLOSE ↔ F1.6 … F2.0 ↔ OPEN ↔ 0dB … 18dB
暗くする ← → 明るくする

● 絞り開放 (OPEN) より明るくするときは、ゲイン値の調整になります。

【自動設定に戻すには】

オート / マニュアル切換えスイッチをオート [AUTO] にする

■動きの速いものを撮影し、あとで再生を一時停止して見る場合のシャッター速度のめやす

撮影対象	シャッター速度
ゴルフやテニスのスイング	1/500 ~ 1/2000
ジェットコースター	1/500 ~ 1/1000

ノート -----

● シャッター速度と絞り・ゲインの両方を設定するときは、シャッター速度を設定したあとに、絞り・ゲインを設定してください。

<シャッター速度について>

- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- マニュアルでシャッター速度を速くすると、感度が低くなることにより、自動でゲイン値が上がり、画面にノイズが増えることがあります。
- 写真撮影時は、よりきれいに撮影するために、シャッター速度を 1/500 以下にすることをおすすめします。
- 明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ているように撮れることがあります。故障ではありません。
- 通常の再生では、画面の変わりがたがなめらかに見えないことがあります。
- 極端に明るい場所や被写体を撮影すると、画面の色が変わったり、ちらついたりすることがあります。この場合、マニュアルでシャッター速度を 1/60 または 1/100 に調整してください。

<絞り・ゲインについて>

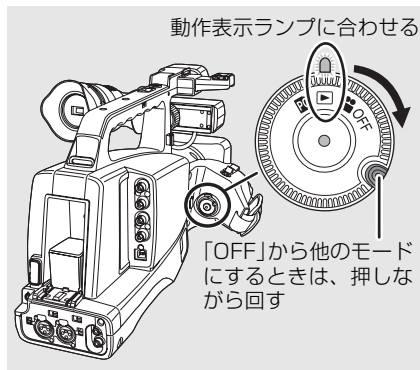
- ゲイン値を上げると、画面にノイズが増えます。
- ズーム倍率によっては、表示されない絞り値 (F 値) があります。

1. ビデオを再生する

ビデオ

ビデオを再生します。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせる



- ビデオ再生タブまたは ◀ / ▶ 選択時、シーン番号の表示がページ番号に切り換わります。

2 十字キーの上を押し、左で「再生」タブを選ぶ



ビデオがサムネイル（縮小画像）表示されます。

3 十字キーで再生するシーンを選ぶ



選んでいるシーンが黄色の枠で囲われます。

- 9シーン以上記録されている場合は、十字キーの左右を動かしていく、または十字キーの下を押し、左右で ◀ / ▶ を選択して中央を押すと、次の（前の）ページが表示できます。

4 十字キーの中央を押す



- 選んだシーンが全画面で再生されます。
- 画面に操作アイコンが自動的に表示されます。

5 十字キーの上下左右で操作する

▶/	再生 / 一時停止
◀◀ (押し続ける)	早戻し再生※
▶▶ (押し続ける)	早送り再生※
■	停止してサムネイル表示に戻る

- ※ワイヤレスリモコンでは、◀◀ または ▶▶ ボタンを押します。


撮影する

再生する

■ビデオの互換性について

- 本機は AVCHD 規格に準拠しています。
- 本機で再生できるビデオ信号は 1440×1080/60i です。
- 1920×1080/60i のビデオ信号は再生できません。
- AVCHD 対応の機器でも、他の機器で記録したビデオの本機での再生、本機で記録したビデオの他の機器での再生は、画像が悪くなったり、再生できない場合があります。

📌 ノート -----

- スピーカーから、通常再生以外では音声は出ません。
- 一時停止を5分続けると、サムネイル表示に戻ります。
- 記録時間が短いシーンは再生できない場合があります。
- 縮小画像が表示されないシーン(サムネイル表示が ) は再生できません。エラーメッセージが表示されサムネイル表示に戻ります。
- 本機以外で記録したビデオを再生すると、日時表示が撮影日時と異なったり、サムネイル表示に時間がかかることがあります。
- 再生の経過時間表示は、シーンごとに 0h00m00s に戻ります。

スキップ再生 (シーンの頭出し) するには

(ワイヤレスリモコンでのみ操作できます)

再生中にワイヤレスリモコンの ◀◀ または ▶▶ ボタンを押す



スロー再生するには

- 1 再生中に十字キーの上を押して、一時停止にする
- 2 十字キーの右を押し続ける (左を押し続けると逆スロー再生)



- 十字キーの上を押すと、通常再生に戻ります。
- 逆スロー再生は、0.5 秒間隔で連続コマ送りされます。

■ワイヤレスリモコンを使うとき

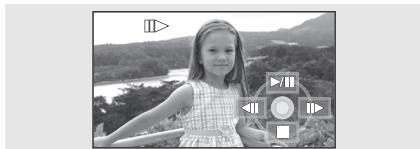
再生中に ◀ または ▶ ボタンを押す



コマ送り再生するには

映像を1コマずつ再生できます。

- 1 再生中に十字キーの上を押して、一時停止にする
- 2 十字キーの右をポンと押す（左を押すと逆コマ送り再生）



- 十字キーの上を押すと、通常再生に戻ります。
- 逆コマ送り再生は、0.5秒間隔のコマ送りになります。

■ワイヤレスリモコンを使うとき

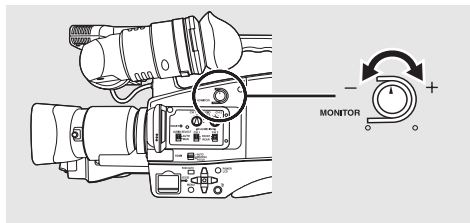
一時停止中に ◀ または ▶ ボタンを押す



音量を調整するには

再生時のスピーカーおよびヘッドホン音量を調整します。

MONITOR LEVEL つまみを動かして音量を変える



- +側：音量を上げる
- 側：音量を下げる

📖 ノート

- リモコンで音量調整はできません。

2. 日付別に再生する

ビデオ

本機では、記録されたシーンを日付別に表示することができます。

日付別再生に設定すると、同じ日に撮影されたシーンのみを続けて再生できます。

1 メニューを設定する (P42)

「再生設定」→「再生切換」→「日付別」

2 十字キーの上下で再生したい日付を選び、中央を押す



同じ日に撮影されたシーンのみがサムネイル表示されます。

- 「再生切換」を「日付別」にすると、「DATE」が表示されます。

3 十字キーの上下左右で再生を始めたシーンを選び、中央を押す

【全シーンの再生に戻すには】

メニューを設定する (P42) :

「再生設定」→「再生切換」→「全シーン」

- 「再生切換」を「全シーン」にすると、記録されているすべてのシーンを続けて再生できます。(「ALL」が表示されます)

 ノート -----

- 電源を切るかモードダイヤルを操作すると全シーン再生に戻ります。
- 同じ日に撮影されたシーンでも、以下の場合には分かれて表示されます。
 - － シーン数が 99 を超えたとき
 - － 修復をしたとき


3. 繰り返し再生する

ビデオ

最後のシーンの再生終了後に、最初のシーンの再生を開始します。

メニューを設定する (P42)

「再生設定」→「リピート再生」→「入」

サムネイル表示と全画面表示に「

」が表示されます。

- 以下のシーンが繰り返し再生されます。
 - － 「再生切換」が「全シーン」のとき：SD カード内すべてのシーン
 - － 「再生切換」が「日付別」のとき：選択されている日付のシーンすべて

【リピート再生を解除するには】

メニューを設定する (P42) :

「再生設定」→「リピート再生」→「切」

- 電源を切ってもリピート再生設定は保持されます。

4. 前回の続きから再生する

ビデオ

途中で停止したシーンをもう一度再生すると、続きから再生を開始することができます。

メニューを設定する (P42)

「再生設定」 → 「続きから再生」 → 「入」

再生を停止すると、続きから再生が設定されたシーンのサムネイルに「▶▶」が表示されます。

【続きから再生を解除するには】

メニューを設定する (P42) :

「再生設定」 → 「続きから再生」 → 「切」

ノート -----

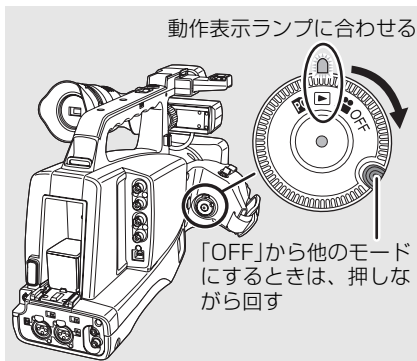
- 続きから再生の開始位置は、電源を切るかモードダイヤルを操作すると解除されます。
(続きから再生の設定は解除されません)

写真 (JPEG (ジェイペグ) 静止画) を再生する

写真

写真を再生します。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせる



2 十字キーの上を押し、右で「再生」タブを選ぶ



写真がサムネイル (縮小画像) 表示されます。

3 十字キーで再生するファイルを選ぶ



選んでいるファイルが黄色の枠で囲まれます。

- 9 ファイル以上記録されている場合は、十字キーの左右を動かしていく、または十字キーの下を押し、左右で ◀ / ▶

▶ を選択して中央を押すと、次の (前の) ページが表示できます。

- 写真再生タブまたは ◀ / ▶ 選択時、ファイル番号の表示がページ番号に切り換わります。

4 十字キーの中央を押す



選んだファイルが全画面で再生されます。

- 画面に操作アイコンが自動的に表示されます。

5 十字キーの上下左右で操作する


▶ /	スライドショーの開始 / 一時停止
◀	前の写真を再生
▶	次の写真を再生
■	停止してサムネイル表示に戻る

■ 写真の互換性について

- 本機は社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された統一規格 DCF (Design rule for Camera File system) に準拠しています。
デザイン ルール フォー カメラ ファイル システム
- 本機で再生できるファイル形式は JPEG です。(JPEG 形式でも再生できないものもあります)
- 規格外のファイルを再生すると、フォルダ / ファイル名が表示されない場合があります。
- 他の機器で記録 / 作成した写真の本機での再生、本機で記録した写真の他の機器での再生は、画像が悪くなったり、再生できない場合があります。



ノート

- SD カードにアクセス中 (カード動作中ランプ点灯中) は、SD カードを抜かないでください。
- スライドショー中は、モードダイヤルを操作しないでください。
- 記録画素数によっては、写真の表示に時間がかかる場合があります。
- 縮小画像が表示されないファイル (サムネイル表示が ) は再生できません。
- 形式の異なるファイルや壊れたファイルを再生したときは、エラーメッセージが表示されサムネイル表示に戻ります。
- 本機以外で記録した写真を再生すると、日時表示が撮影日時と異なったり、サムネイル表示に時間がかかることがあります。
- 再生するファイルを選び、十字キーの中央を押しても、スライドショーは自動的に開始されません。再生・一時停止となります。

1. シーンの削除

シーンを削除する

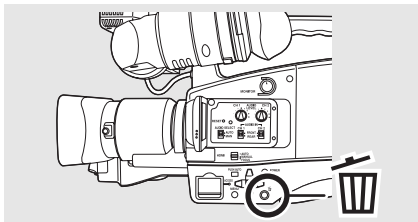
ビデオ

削除したシーンは元に戻りません。

シーンを1つずつ確認しながら削除する

- モードダイヤルを  に合わせて、「」(ビデオ再生) タブを選ぶ (P69)

1 再生中に ボタンを押す

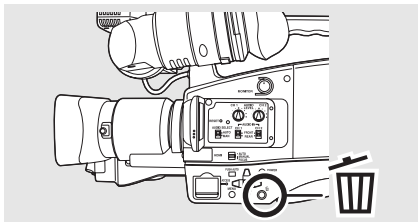


2 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んで十字キーの中央を押す

複数のシーンを一度に削除する

- モードダイヤルを  に合わせて、「」(ビデオ再生) タブを選ぶ (P69)

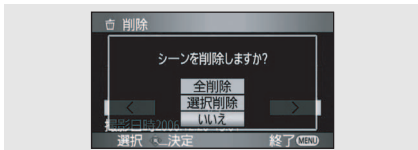
1 サムネイル表示で ボタンを押す



3 (手順2で「選択削除」を選んだ場合のみ) 十字キーで削除するシーンを選び、中央を押す



2 十字キーの上下で「選択削除」、または「全削除」を選び、中央を押す



シーンが赤色の枠で囲まれます。

- もう一度押すと、解除されます。
- 最大 50 シーンまで続けて設定できます。

4 (手順2で「選択削除」を選んだ場合のみ) ボタンを押す

5 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んで十字キーの中央を押す

- 「全削除」を選ぶと、プロテクト設定されたシーンを除いて、以下のシーンが削除されます。手順5に進んでください。

- 「再生切換」が「全シーン」のとき：
SD カード内のすべてのシーン
- 「再生切換」が「日付け別」のとき：
選択されている日付のシーンすべて

(手順2で「選択削除」を選んだ場合のみ)


【他のシーンも続けて削除するには】

手順3～5を繰り返す

【削除を終了するには】

メニューボタンを押す

ノート -----

- 再生できないシーン（サムネイル表示が  ）は削除できません。
- プロテクトされているシーンは削除できません。
- 削除中にカード扉を開けないでください。削除が中断されます。
- 「全削除」の場合、SD カード内にシーンが多数あると、削除に時間がかかることがあります。
- 削除中は電源を切らないでください。
- 削除するときは、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。
- 他の機器で記録したシーンを本機で削除すると、そのシーンに関連するデータも削除される場合があります。

2. シーンの プロテクト

シーンの誤消去を防止する

ビデオ

シーンを誤って削除しないように、プロテクト設定できます。

（シーンをプロテクトしていても、SD カードをフォーマットした場合は削除されます）

- モードダイヤルを  に合わせて、「」（ビデオ再生）タブを選ぶ（P69）

1 メニューを設定する（P42）

「再生設定」→「シーンプロテクト」→「する」

2 十字キーでプロテクトするシーンを選び、中央を押して設定する



「On」表示が出てシーンがプロテクトされます。

- 解除するには、もう一度十字キーを押します。
- 複数のファイルを続けて設定できます。

【設定を終了するには】

メニューボタンを押す

1. 写真の削除

写真を削除する

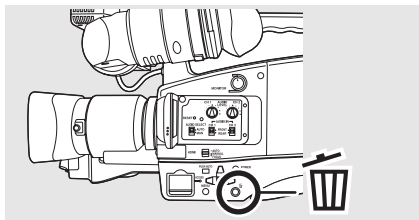
写真

削除したファイルは元に戻りません。

ファイルを1つずつ確認しながら削除する

- モードダイヤルを  に合わせて、「」(写真再生) タブを選ぶ (P74)

1 再生中に ボタンを押す

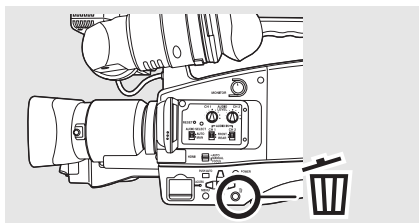


2 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んで十字キーの中央を押す

複数のファイルを一度に削除する

- モードダイヤルを  に合わせて、「」(写真再生) タブを選ぶ (P74)

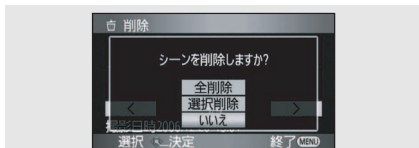
1 サムネイル表示で ボタンを押す



3 (手順2で「選択削除」を選んだ場合のみ) 十字キーで削除するファイルを選び、中央を押す



2 十字キーの上下で「選択削除」、または「全削除」を選び、中央を押す



- ファイルが赤色の枠で囲まれます。
- もう一度押すと、解除されます。
 - 最大50ファイルまで続けて設定できます。

4 (手順2で「選択削除」を選んだ場合のみ) ボタンを押す

5 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んで十字キーの中央を押す

- 「全削除」を選ぶと、プロテクト設定されたファイルを除いて、SDカード内のすべてのファイルが削除されます。手順5に進んでください。

(手順2で「選択削除」を選んだ場合のみ)
【他のファイルも続けて削除するには】
手順3～5を繰り返す

【削除を終了するには】

メニューボタンを押す

■他の機器でSDカードに記録した写真ファイルを削除する場合

本機で再生できない写真ファイル(JPEG以外のファイル)でも削除される場合があります。

ノート -----

- プロテクトされているファイルは削除できません。
- 削除中にカード扉を開けないでください。削除が中断されます。
- 「全削除」の場合、SDカード内にファイルが多数あると、削除に時間がかかることがあります。
- 削除中は電源を切らないでください。
- 削除するときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプターを使用してください。
- DCF規格に準拠したファイルを削除すると、そのファイルに関連するデータはすべて削除されます。

2. 写真の プロテクト

ファイルの誤消去を防止する

写真

SDカードに記録したファイルを誤って削除しないように、プロテクト設定できます。(ファイルをプロテクトしていても、SDカードをフォーマットした場合は削除されます)

- モードダイヤルを **▶** に合わせて、「**📷**」(写真再生) タブを選ぶ (P74)

1 メニューを設定する (P42)

「再生設定」→「シーンプロテクト」→「する」

2 十字キーでプロテクトするファイルを選び、中央を押して設定する



「ON」表示が出てファイルがプロテクトされます。

- 解除するには、もう一度十字キーを押します。
- 複数のファイルを続けて設定できます。

【設定を終了するには】

メニューボタンを押す

3. DPOF (ディーポフ) 設定

プリント情報を SD カードに書き込む

写真

プリントしたい写真、プリント枚数の情報 (DPOF データ) を SD カードに書き込むことができます。

- モードダイヤルを に合わせて、「」(写真再生) タブを選ぶ (P74)

1 メニューを設定する (P42)

「再生設定」→「DPOF 設定」→「設定」

2 十字キーで設定するファイルを選び、中央を押す



枚数表示が出ます。

3 十字キーの上下でプリントする枚数を選び、中央を押す

- 0 から 999 枚まで選べます。(DPOF に対応したプリンターで、設定した枚数をプリントできます)
- 設定を解除するには、0枚に設定します。
- 複数のファイルを続けて設定できます。

【設定を終了するには】

メニューボタンを押す

【DPOF 設定をすべて解除するには】

メニューを設定する (P42) :
「再生設定」→「DPOF 設定」→
「全て解除」

- 確認のメッセージが表示されますので、「はい」を選んでください。

■ DPOF とは

デジタル プリント オーダー フォーマット
Digital Print Order Formatの略です。DPOF 対応のシステムで活用できるように、プリント情報を書き込むことができるようにしたものです。

📝 ノート

- DPOF 設定は最大 999 枚まで設定できます。
- 他の機器で DPOF 設定すると、本機では認識しないことがあります。DPOF 設定は本機で行ってください。
- DPOF 設定で日付プリントを指定することはできません。

SD カードのフォーマット

SD カードを初期化する

ビデオ 写真

フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことができませんので、お気をつけください。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

- モードダイヤルを  または  に合わせる

1 メニューを設定する (P42)

「セットアップ」 →
「カードフォーマット」 → 「する」

2 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んで十字キーの中央を押す

- フォーマットが完了したら、メニューボタンを押してメッセージ画面を閉じてください。

ノート -----

- フォーマットは本機で行ってください。パソコンなど他の機器でフォーマットすると、記録に時間がかかったり、本機で使用できなくなる場合があります。
- ご使用のSDカードによってはフォーマットに時間がかかる場合があります。
- フォーマット中は電源を切らないでください。
- フォーマットするときには、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプターを使用してください。
- フォーマット中はSDカードを抜かないでください。

編集する

整理する

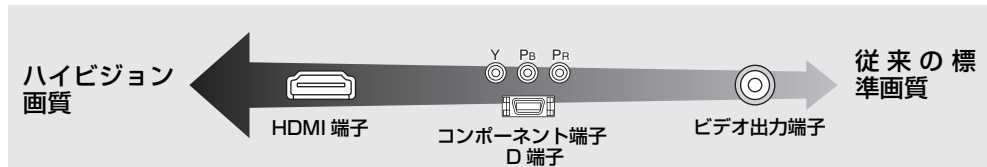
テレビにつないで見る

ビデオ 写真

本機で撮ったビデオ・写真をテレビ画面で再生できます。

以下の端子を持つテレビに接続してください。各端子に接続するときはそれぞれ別売の接続ケーブルが必要です。

接続する端子による画質の違い



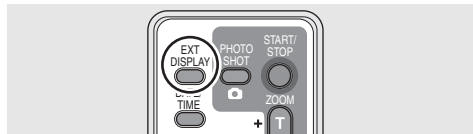
お使いのテレビ / 機器	参照いただく項目
HDMI 端子付きテレビ	① HDMI ケーブル (別売) で接続する (P83)
コンポーネント端子または D 端子付きテレビ	② コンポーネント映像ケーブル (別売) と音声ケーブル (別売) で接続する (P85)
その他のテレビ	③ 映像ケーブル (別売) と音声ケーブル (別売) で接続する (P86)

- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

■ テレビ画面に機能表示などを表示するには

本機の画面に表示されている情報 (操作アイコン、カウンター表示など) をテレビ画面に表示することができます。

■ ワイヤレスリモコンの表示出力ボタンを押す



- もう一度、表示出力ボタンを押すと、表示が消えます。
- 本機の画面の表示は変わりません。

■ 画面の比率が 4:3 のテレビでワイド (16:9) 映像を見るには

本機で撮影した横縦比 16:9 のビデオや写真を、横縦比 4:3 のテレビで再生すると、画面に映る映像が縦長になることがあります。この場合、メニューの設定を変更すると元の映像の比率で再生できるようになります。(テレビの設定により、正しく表示されない場合がありますので、テレビの説明書もお読みください)

■ メニューを設定する (P42)

「セットアップ」→「接続するテレビ」→「4:3」

横縦比 16:9 の映像を 4:3 テレビに映したときの例:

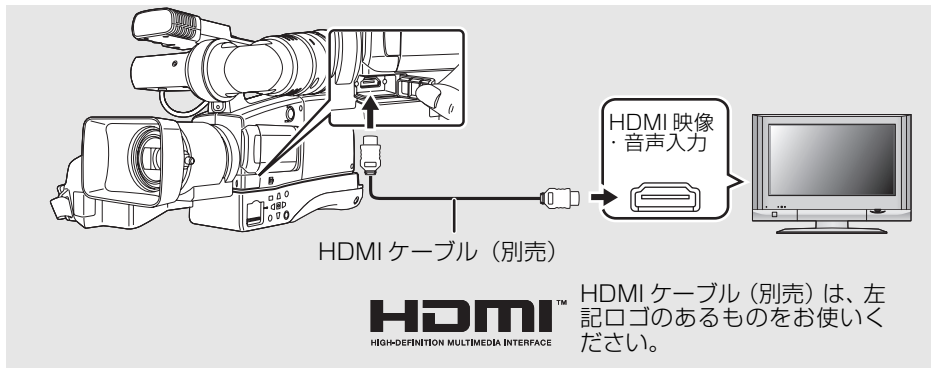
「接続するテレビ」の設定	
ワイド	4:3

① HDMI ケーブル（別売）で接続する

HDMI とは：

HDMI はデジタル機器向けの次世代インターフェースです。HDMI 対応機器と接続すると、デジタル信号で映像や音声を出力することができます。本機と HDMI 対応のハイビジョンテレビを接続して再生すると、撮影したハイビジョン映像（P18）を高画質・高音質で楽しむことができます。

1 本機とテレビを HDMI ケーブル（別売）でつなぐ



2 モードダイヤルを ▶ に合わせて電源を入れる

3 テレビの入力切換を選ぶ

例：入力切換を「HDMI」などにする
(接続するテレビによっては入力表示名が変わる場合があります)

4 本機で再生を始める

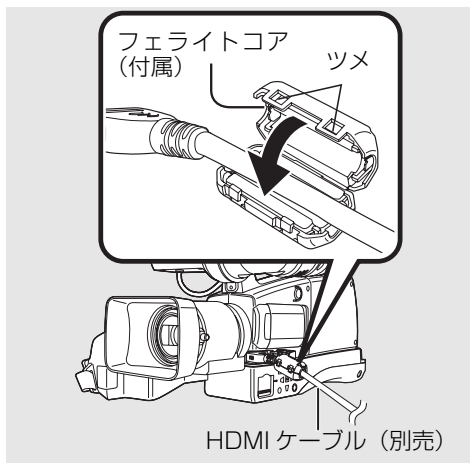
テレビに映像や音声が出来ます。

■ テレビに本機の映像や音声がでない場合

- プラグがグッと奥まで差し込んであるか確認してください。
- 接続している端子を確認してください。
- テレビの入力設定（入力切換）、音声入力設定を確認してください。（詳しくは、テレビの説明書をお読みください）
- 「HDMI 出力解像度」を確認してください。（P84）

■ フェライトコアの取り付け

HDMI ケーブルを本機に接続する際は、付属のフェライトコアを本機になるべく近い側で取り付けてください。



- フェライトコアのツメ2か所をはずして開き、HDMI ケーブルをはさんで閉じてください。

■ HDMI 接続時の設定について

本機と他の機器をHDMIケーブルで接続したときの、本機の出力設定を変更することができます。

HDMI 出力解像度

出力する映像方式を切り換えることができます。

メニューを設定する (P42) :
「セットアップ」 → 「HDMI 出力解像度」
→ 希望の設定

オート：接続したテレビからの情報を元に、自動的に出力解像度を決定します。

1080i：有効走査線本数 1080 本のインターレース方式で出力します。

480p：有効走査線本数 480 本のプログレッシブ方式で出力します。

ノート -----

- 「オート」に設定していて映像がテレビに出ないときは、「1080i」または「480p」に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。(テレビの説明書もお読みください)
- 必ず HDMI 入力端子と接続してください。他の機器の HDMI 出力端子と接続しないようお願いください。
- HDMIケーブルは太さ9mm以下のものをお使いください。

1080i

デジタルハイビジョン映像の1つで、1/60秒ごとに1080本の有効走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。有効走査線数は従来の標準画質の480本の倍以上の1080本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

480p

1/60秒ごとに480本の有効走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないで、ちらつきが少なくなります。

480i

1/60秒ごとに480本の有効走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。

インターレース方式/プログレッシブ方式

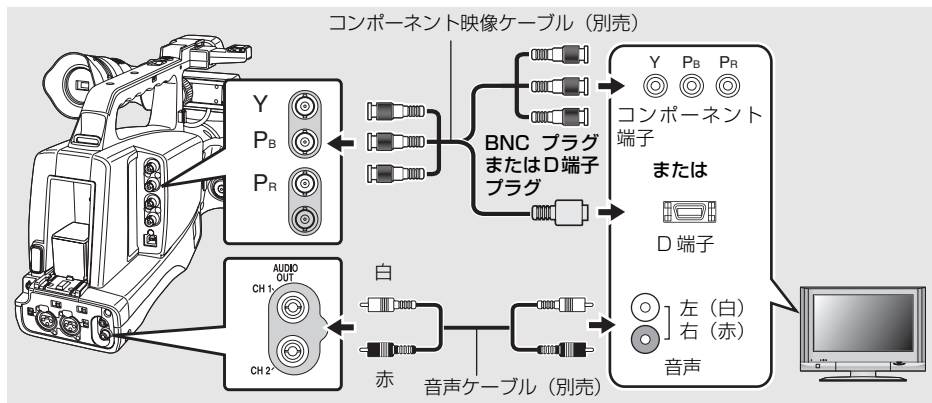
従来の映像信号(NTSC)は480i(i:インターレース=飛び越し走査)といわれるのに対し、その480i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を480p(p:プログレッシブ=順次走査)といいます。

本機のコンポーネント端子やHDMI端子はハイビジョン映像出力[1080i]にも対応しています。

プログレッシブ映像、ハイビジョン映像を楽しむにはそれぞれ対応テレビが必要です。

② コンポーネント映像ケーブル（別売）と音声ケーブル（別売）で接続する

1 本機とテレビをコンポーネント映像ケーブル（別売）と音声ケーブル（別売）でつなぐ



- コンポーネント端子は映像のみの出力になりますので、必ず音声ケーブルも一緒に接続してください。（コンポーネント端子入力の音声入力端子に差し込んでください。詳しくは、テレビの説明書をお読みください）
- 本機のコンポーネント端子は BNC タイプです。ピンタイプのケーブルで接続する場合、ピン→BNC 変換プラグ（別売）をご使用ください。

2 モードダイヤルを ▶ に合わせて電源を入れる

3 テレビの入力切換を選ぶ

例：入力切換を「色差ビデオ」などにする
（接続するテレビによっては入力表示名が変わります）

4 本機で再生を始める

テレビに映像や音声が出来ます。

■ コンポーネント端子接続時の設定について

本機とテレビをコンポーネント映像ケーブルで接続したときの出力設定を変更することができます。接続するテレビの端子に合わせて設定してください。

メニューを設定する (P42) :
「セットアップ」→「コンポーネント出力」
→希望の設定

480i : 標準画質で再生されます

1080i : ハイビジョン画質で再生されます

■ テレビに本機の映像や音声がでない場合

- プラグがグッと奥まで差し込んであるか確認してください。
- 接続している端子を確認してください。
- テレビの入力設定（入力切換）を確認してください。（詳しくは、テレビの説明書をお読みください）

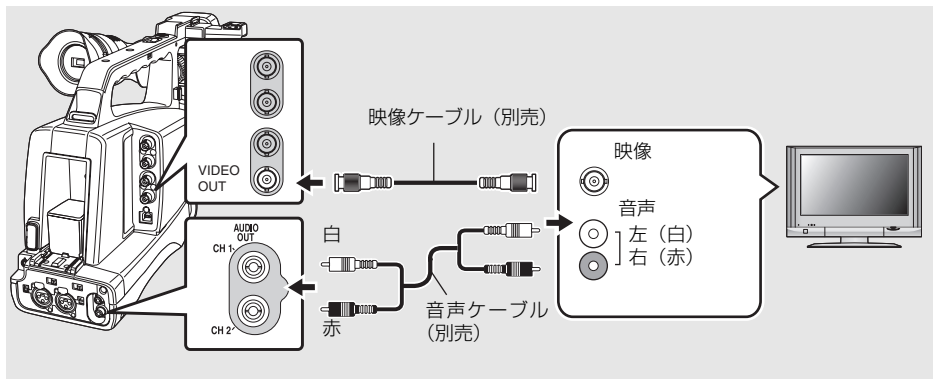


ノート

- テレビに映像が正しく表示されない場合、ワイドテレビではテレビ側の画面モードで調整してください。詳しくは、テレビの説明書をお読みください。横縦比が 4 : 3 のテレビで映像が縦長になる場合は、本機の設定を変更してください。(P82)

③ 映像ケーブル（別売）と音声ケーブル（別売）で接続する

1 本機とテレビを映像ケーブル（別売）と音声ケーブル（別売）でつなぐ



2 モードダイヤルを ▶ に合わせて電源を入れる

3 テレビの入力切替を選ぶ

例：入力切替を「ビデオ 2」などにする
(接続する端子によって変わります)

4 本機で再生を始める

テレビに映像や音声が出ます。

■ テレビに本機の映像や音声が出ない場合

- プラグがグッと奥まで差し込んであるか確認してください。
- 接続している端子を確認してください。
- テレビの入力設定（入力切替）を確認してください。（詳しくは、テレビの説明書をお読みください）

📖 ノート -----

- テレビに映像が正しく表示されない場合、ワイドテレビではテレビ側の画面モードで調整してください。詳しくは、テレビの説明書をお読みください。横縦比が 4 : 3 のテレビで映像が縦長になる場合は、本機の設定を変更してください。（P82）

ブルーレイディスク (BD-RE) にダビングする

ビデオ 写真

当社製 BD/DVD レコーダーに本機で撮影した SD カードを入れて、ブルーレイディスク (BD-RE) に保存することができます。

■ 本機で撮影したビデオを保存できる機器 (2008 年 1 月現在)

- BD/DVD レコーダー /DMR-BR100 ※
- BD/DVD レコーダー /DMR-BW200 ※
- BD/DVD レコーダー /DMR-BW700
- BD/DVD レコーダー /DMR-BW800
- BD/DVD レコーダー /DMR-BW900

※ブルーレイディスク (BD-RE) にのみビデオをダビングすることができます。
DVD ディスクや HDD にはビデオをダビングできません。

1 本機から撮影済みの SD カードを取り出す (P38)

- モードダイヤルを「OFF」にしてから、SD カードを取り出してください。

2 SD カードを BD/DVD レコーダーのカードスロットに入れる

- ブルーレイディスクへのダビング方法などは、BD/DVD レコーダーの取扱説明書をお読みください。

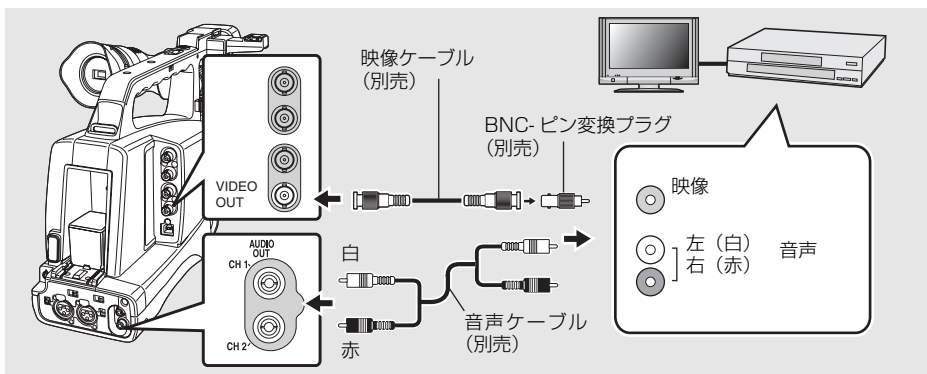
DVD レコーダーやビデオにつないでダビングする

ビデオ

本機で記録した映像を DVD レコーダーやビデオなどでダビングします。

- 従来の標準画質でダビングされます。
- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

1 本機と録画機をつなぐ



2 モードダイヤルを ▶ に合わせて電源を入れる

3 録画機・テレビの入力切換を選ぶ

(詳しくは、録画機の説明書をお読みください)

例:

録画機	「L1」など (接続する端子によって変わります)
テレビ	「ビデオ 1」など (通常、ビデオを見る入力)

4 本機で再生を始める

5 録画機で録画を始める

【録画 (ダビング) を終了するには】

- 1) 録画機で録画を停止する
- 2) 本機で再生を停止する



ノート

- 年月日表示や機能表示が不要な場合は、表示を消しておいてください。(P44、82)


ダビングした映像をワイドテレビで再生すると、縦に引き伸ばされた映像になる場合があります。

この場合は、ダビングされる機器の説明書をご確認いただくか、またはワイドテレビの説明書をお読みになり 16:9 (フル) に設定してください。

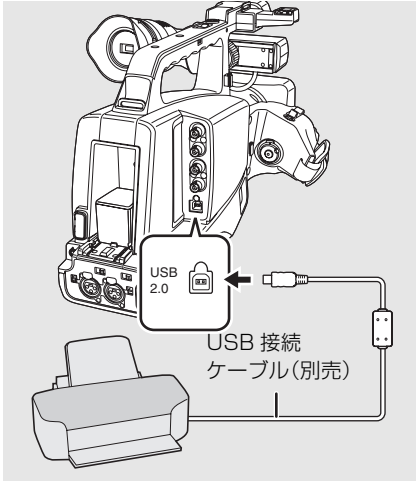
プリンターにつないで写真をプリントする

写真

PictBridge に対応したプリンターが必要です。(プリンターの説明書もお読みください)

- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。
- 本機に記録済みの SD カードを入れてから、モードダイヤルを  に合わせて電源を入れる

1 本機とプリンターをつなぐ



本機の画面に「PictBridge」が表示されます。

- 「PictBridge」が表示されなかったり、点滅し続ける場合は、ケーブルを接続し直すか、SD カードやプリンターを確認してください。

2 十字キーでプリントするファイルを選び、中央を押す



枚数表示が出ます。

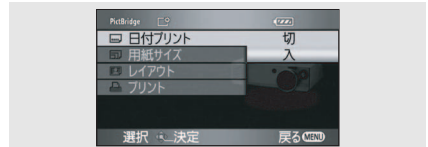
3 十字キーの上下でプリントする枚数を選び、中央を押す

- 最大で 9 枚まで設定できます。
- 設定を解除するには、0 枚に設定します。
- 手順 2～3 を繰り返すと、最大 8 ファイルまで続けて設定できます。

4 メニューボタンを押して PictBridge メニュー画面を表示させる



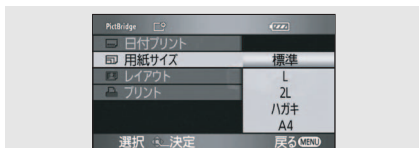
5 「日付プリント」で日付印刷の設定を選ぶ



- プリンターが日付印刷に対応していないと、設定できません。

他の機器で

6 「用紙サイズ」で用紙のサイズを選ぶ



標準 : プリンターに設定されているサイズ

L : L判サイズ

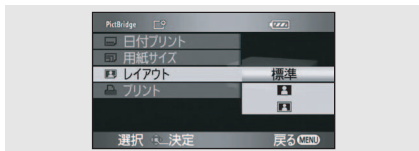
2L : 2L判サイズ

ハガキ : はがきサイズ

A4 : A4サイズ

- プリンターが対応していないサイズには設定できません。

7 「レイアウト」でレイアウトを選ぶ



標準 : プリンターに設定されているレイアウト



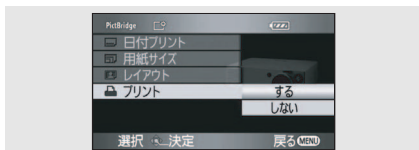
: ふちなしプリント



: ふちありプリント

- プリンターが対応していないレイアウトには設定できません。

8 「プリント」の「する」を選んでプリントする



- プリント終了後、USB 接続ケーブル (別売) を抜くと PictBridge が終了します。

【プリントを途中でやめるには】

十字キーの下を押す

- 確認のメッセージが出ます。
「はい」を選んだ場合は枚数設定を解除して手順 2 に戻り、「いいえ」を選んだ場合は設定した内容をすべて保持して手順 3 に戻ります。

【ノート】-----

- プリント中は以下の操作をしないでください。正しくプリントされません。
 - ー USB 接続ケーブルを抜く
 - ー カード扉を開いて、SD カードを取り出す
 - ー モードダイヤルを切り換える
 - ー 電源を切る
- 用紙サイズや印字品質など、プリンターの設定を確認してください。
- 本機で撮影した横縦比 16 : 9 の写真は、プリント時に端が切れる場合があります。「トリミング」や「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、「トリミング」または「ふちなし」の設定を解除してお試しください。(プリンターの説明書をお読みください)
- 他の機器で記録した写真は、プリントできない場合があります。
- プリンターに直接つないでいるときは、DPOF プリントはできません。
- 本機とプリンターは直接つないでください。USB ハブは使わないでください。
- USB 接続ケーブルは、USB ロゴマークの付いたケーブル長 1m 以内のものをお使いください。

1. パソコンでできること

データの種類	できること	使うソフトウェア
ビデオ	パソコンへ取り込み	HD Writer Ver2.5
	メディア*へ書き出し	
	メディア*間のコピー	
	パソコンで再生する	
	簡易編集	
	MPEG2 形式に変換する	
	DVD ビデオを作成する	
写真	パソコンで再生する	Windows 標準の画像ビューアや市販の画像閲覧ソフト
	パソコンにファイルをコピーする	Windows エクスプローラ
	Macintosh をお使いの場合は 103 ページをご覧ください。	

※ 対応するメディアは SD カード、ディスク (DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL) になります。

ノート

- 本機付属のソフトウェア以外のソフトウェアを使用して、本機にビデオのデータの読み書きを行った場合の動作保証はいたしません。

2. 付属 CD-ROM の内容

付属 CD-ROM には、以下のソフトウェアが入っています。

■ HD Writer Ver2.5

SD カード内のビデオや写真のデータをパソコンの HDD（ハードディスク）に取り込み、映像データの簡易編集（分割 / 削除 / 結合）をして、SD カードやディスクに書き出すことができます。



PC へ取り込み：

SD カードの空き容量がなくなったら、パソコンの HDD にコピーしてください。シーンの分割や削除など簡単な編集ができるようになります。

メディアへ書き出し：

パソコンの HDD から SD カードに、ビデオや写真のデータを書き戻すことができます。また、ディスクにビデオのデータをコピーすることもできます。

メディア間のコピー：

SD カードからディスク、またはディスクから SD カードへビデオのデータをコピーすることができます。

ダイレクト

■ DirectX

Windows 2000 をお使いの場合、HD Writer Ver2.5 を動作させるためには、DirectX 9.0c がインストールされている必要があります。お使いの環境によっては、DirectX 9.0c のインストールを要求されますので「はい」をクリックしてインストールしてください。

簡易編集：

パソコンの HDD にコピーされたシーンの分割・結合・削除など簡単な編集ができます。

プレイヤー起動：

SD カードの映像を、ハイビジョン画質のままパソコンで再生することができます。

ディスクの初期化：

使用するディスクによってはフォーマットが必要です。AVCHD に対応した UDF2.5 でフォーマットされます。

3. 動作環境

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- インストールには CD-ROM ドライブが必要です。(DVD 書き込みには、対応したドライブとメディアが必要です)
- 以下の場合は動作を保証しません。
 - － 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合や、USB ハブや USB 延長ケーブルを使用して接続している場合
 - － NEC PC-98 シリーズとその互換機をお使いの場合
 - － OS のアップグレード環境の場合
- Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows 98 SE、Windows Me および Windows NT には対応していません。
- USB 接続ケーブルは、USB ロゴマークの付いたケーブル長 1m 以内のものをお使いください。

■ HD Writer Ver2.5 の動作環境

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	プリインストールされた各日本語版 Microsoft Windows 2000 Professional Service Pack 4 Microsoft Windows XP Home Edition Service Pack 2 Microsoft Windows XP Professional Service Pack 2 Microsoft Windows Vista Home Basic Microsoft Windows Vista Home Premium Microsoft Windows Vista Ultimate Microsoft Windows Vista Business
CPU	Intel Pentium III 1.0 GHz 以上の CPU (互換 CPU を含む) (再生機能 /MPEG2 出力機能を使用する場合は、Intel Core 2 Duo 2.16 GHz 以上、Intel Pentium D 3.2 GHz 以上、または AMD Athlon™ 64 X2 Dual-Core 5200+ 以上を推奨)
メモリ	Windows Vista: 1024 MB 以上、Windows XP/2000: 512 MB 以上 (1024 MB 以上を推奨)
ディスプレイ	High Color (16 bit) 以上 (32 bit 以上を推奨) デスクトップ領域 1024×768 以上 (1280×1024 以上を推奨) Windows Vista: DirectX 10 に対応したビデオカード Windows XP/2000: DirectX 9.0c に対応したビデオカード DirectDraw のオーバーレイに対応 PCI Express™ ×16 対応を推奨
ハードディスクドライブ	Ultra DMA-100 以上 300 MB 以上の空き容量 (インストール用) ● DVD 書き込みするときは、作成するディスクの 2 倍以上の空き領域が必要です。
必要なソフトウェア	Windows Vista: DirectX 10、Windows XP/2000: DirectX 9.0c ● DirectX 9.0c に対応していないパソコンにインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。対応状況がわからない場合は、ご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください。

サウンド	DirectSound 対応
インターフェース	USB 端子 (ハイスピード USB (USB2.0))
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

- 付属の CD-ROM は Windows 専用です。
- 日本語以外の言語の文字入力はサポートしていません。
- すべての DVD ドライブについて動作を保証するものではありません。
- Windows XP Media Center Edition、Tablet PC Edition、Windows Vista Enterprise および 64 bit のオペレーティングシステムでの動作は保証しません。
- マルチブート環境には対応していません。
- マルチモニター環境には対応していません。
- Windows XP/2000 は管理者アカウントのユーザーでのみ使用可能です。Windows Vista は管理者および標準アカウントのユーザーでのみ使用可能です。(インストール、アンインストールは管理者アカウントのユーザーで行ってください)

■ カードリーダー機能 (マストレージ) の動作環境

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	Microsoft Windows 2000 Professional Service Pack 4 Microsoft Windows XP Home Edition Microsoft Windows XP Professional Microsoft Windows Vista Home Basic Microsoft Windows Vista Home Premium Microsoft Windows Vista Ultimate Microsoft Windows Vista Business Microsoft Windows Vista Enterprise
CPU	Windows Vista: Intel Pentium III 1.0 GHz 以上、 Windows XP/2000: Intel Pentium III 450 MHz 以上、または Intel Celeron 400 MHz 以上
メモリ	Windows Vista Home Basic: 512 MB 以上 Windows Vista Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise: 1 GB 以上 Windows XP/2000: 128 MB 以上 (256 MB 以上を推奨)
インターフェース	USB 端子
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

- OS 標準ドライバーで動作します。

1. ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアをインストールするときは、ユーザー名を「Administrator」（もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名）、または標準ユーザーアカウントのユーザー名にしてパソコンにログオンしてください。（権限がない場合はシステム管理者にご相談ください）

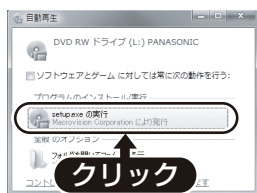
- インストールを始める前に他の起動中のソフトウェアをすべて終了し、インストール中に他の作業をしないでください。

HD Writer Ver2.5 のインストール

1 CD-ROM をパソコンに入れる

- 自動でインストール画面が表示されます。
- 自動でインストール画面が表示されない場合は、「スタート」→「マイコンピュータ（コンピュータ）」を選び（またはデスクトップの「マイコンピュータ（コンピュータ）」をダブルクリックして）、「PANASONIC」をダブルクリックしてください。

Windows Vista をお使いの場合：
以下の画面が表示されたときは、
「setup.exe の実行」→「続行」をクリックしてください。



2 「次へ」をクリックする



3 「使用許諾契約」をよく読んで同意される場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを付けて「次へ」をクリックする



- 画面のメッセージに従ってインストールを続けてください。
- 「使用許諾契約」の条項に同意されない場合はインストールできません。
- Windows 2000 をお使いの場合、HD Writer Ver2.5 を動作させるためには、DirectX 9.0c がインストールされている必要があります。お使いの環境によっては、DirectX 9.0c のインストールを要求されますので「はい」をクリックしてインストールしてください。DirectX 9.0c に対応していないパソコンにインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。対応状況がわからない場合は、ご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください。

- 4** インストールが完了すると制限事項が表示されます。
内容を確認し、ウィンドウ右上の「×」をクリックする



- 5 「完了」をクリックする**



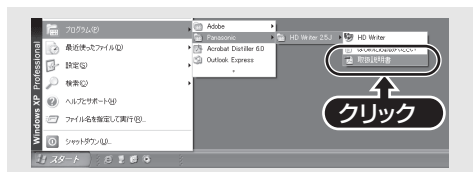
インストール完了後、パソコンを再起動してください。

2. ソフトウェアの取扱説明書を読む

ソフトウェアの詳しい使いかたについては、取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

- 取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 あるいは Adobe Reader 7.0 以降が必要です。

「スタート」 →
 「すべてのプログラム（プログラム）」 →
 「Panasonic」 →
 「HD Writer 2.5J」 →
 「取扱説明書」 を選ぶ



3. ソフトウェアをアンインストールする

ソフトウェアが不要になったときは、以下の方法でアンインストールしてください。

- 1** 「スタート」 → （「設定」 → 「コントロールパネル」 → 「プログラム（アプリケーション）の追加と削除」または「プログラムのアンインストール」）を選ぶ



- 2** 「HD Writer 2.5J for HDC」を選び、「変更と削除」（「変更 / 削除」または「追加と削除」）または「アンインストール」をクリックする



- 画面の指示に従ってアンインストールを進めてください。
- ソフトウェアをアンインストールしたときは、パソコンを再起動してください。

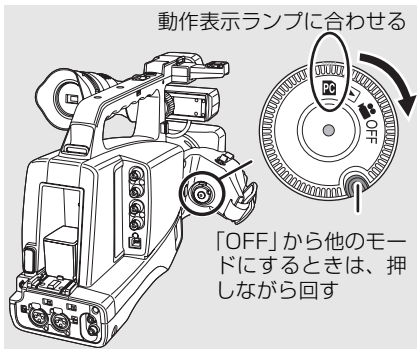
1. 接続と認識の手順

ソフトウェアのインストール後、パソコンと本機を接続し、本機をパソコンに正しく認識させる必要があります。

- ソフトウェアのインストール後に接続を行ってください。
- 付属 CD-ROM がパソコンに入っている場合は、取り出してください。
- 認識作業が正しく行われないと、本機をパソコンと接続して使用することができません。
- 本機が正常に動作しないときは、インストールや認識作業が正常に行われていない可能性があります。


1 バッテリーまたは AC アダプターを取り付ける

2 本機に記録済みの SD カードを入れてから、モードダイヤルを に合わせて電源を入れる

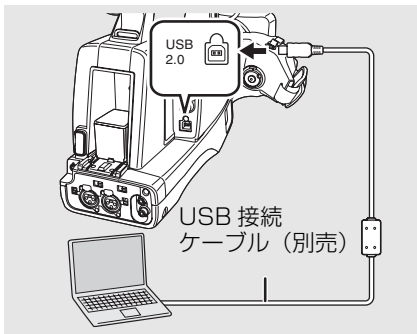


- USB接続ケーブルは、奥までしっかり差し込んでください。差し込みがゆるいと、正常に機能しません。

ノート

- パソコンと接続中は、本機の操作モードを切り換えたり、電源を切ることはできません。USB 接続ケーブルを外してから行ってください。(P99)
- パソコンが本機のSDカードにアクセスしている間は、カード動作中ランプが点灯します。(SD カードへのアクセス中は液晶モニターに  が表示されます) 記録内容が失われる原因となりますので、アクセス中はUSB 接続ケーブルや AC アダプターまたはバッテリーを外さないでください。
- 本機とパソコンをはじめて接続したときは、パソコンの再起動が必要な場合があります。


3 本機とパソコンをつなぐ



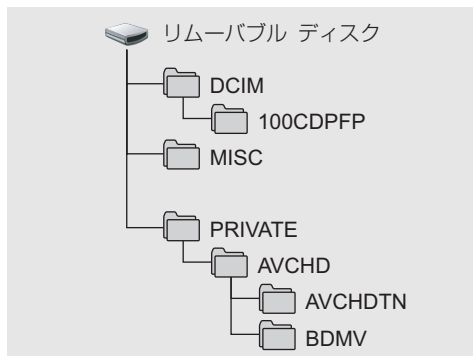
本機が自動的にパソコンから認識されます。

2. パソコンでの表示について

本機をパソコンと接続すると、パソコンの外付けドライブとして認識されます。

- 「リムーバブルディスク」(例:  リムーバブル ディスク (G:)) が「マイコンピュータ」に表示されます。

SD カードのフォルダ構造例：




- AVCHD 規格のビデオデータ (「F00000.MTS」など) が「BDMV」フォルダに保存されています。
- [AVCHDTN] フォルダにはビデオのサムネイルが記録されます。
- JPEG 規格の写真ファイル (「IMG0001.JPG」など) が「100CDPFP」フォルダなどに保存されています。これらのファイルは JPEG 画像に対応した画像閲覧ソフトなどで開くことができます。
- [100CDPFP] フォルダなどには最大で 999 ファイル記録できます。
- [MISC] フォルダには DPOF 設定データが記録されます。

SD カード内のビデオデータをコピーや書き戻しする場合は、HD Writer Ver2.5 を使用することをおすすめします。Windows エクスプローラなどで、本機で記録したフォルダやファイルのコピー、移動、名前の変更をすると HD Writer Ver2.5 で使用できなくなります。

■ カードに記録した写真をパソコンにコピーする

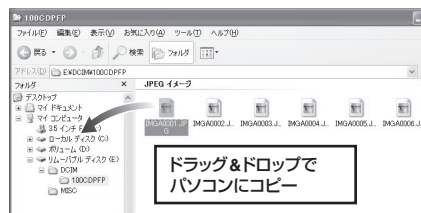
カードリーダー機能 (マストレージ)
本機に記録済みの SD カードを入れて、USB 接続ケーブルでパソコンに接続すると、SD カードをパソコンの外付けドライブとして使い、[エクスプローラ]などで SD カードに記録した写真をパソコンにコピーできます。

1 本機のモードダイヤルを に合わせて、パソコンとつなぐ

「リムーバブルディスク」(例:  リムーバブル ディスク (G:)) が「マイコンピュータ」に表示されます。

2 [リムーバブルディスク] 内のファイルが保存されているフォルダ ([DCIM] → [100CDPFP] など) をダブルクリックする

3 コピー先のフォルダ (パソコンのハードディスク) にファイルをドラッグ & ドロップする



ノート

- SDカード内のフォルダをパソコン上で削除しないでください。本機でSDカードが読み込めなくなる場合があります。
- SDカードのフォーマットは必ず本機で行ってください。
- パソコン上で本機が対応していないデータを記録した場合、本機では認識できません。

3. USB 接続ケーブルを安全に外す

1 パソコンの画面でタスクトレイのアイコンをダブルクリックする

- 「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。
- お使いのパソコンの設定によっては、このアイコンが表示されない場合があります。


2 「USB大容量記憶装置デバイス」を選び、「停止」をクリックする

3 「MATSHITA AG-HMC70 USB Device」が選ばれていることを確認し、「OK」をクリックする

- 「OK」をクリックすると、安全に USB 接続ケーブルを外すことができます。



ノート

- 記録内容が失われる原因となりますので、カード動作中ランプの点灯中（表示中）は USB 接続ケーブルを外さないでください。
- USB 接続ケーブルを取り外すときにはコネクタ部分を持って引き抜いてください。その際、ケーブルホルダーに手が当たらないようご注意ください。

4. 本機がパソコンで正しく認識されているかどうかを確認する

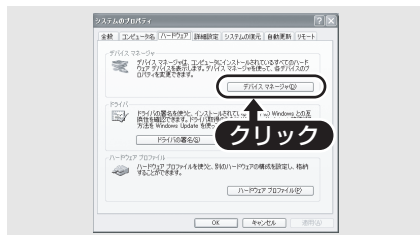
本機がパソコンで正しく認識されているかどうかを確認するには、本機のモードダイヤルを回してPC接続モードを選び、USB接続ケーブルでパソコンと接続してから、以下の手順で確認してください。

- NEC製など一部のパソコンでは、機能制限のあるモードに設定されていると、デバイスマネージャなどが表示されない場合があります。パソコンの製造元にお問い合わせいただくか、お使いのパソコンの説明書に従って、すべての機能が使えるモードにしてから操作してください。

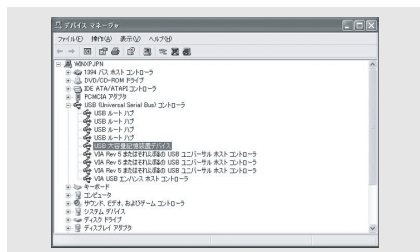
1 「スタート」→（「設定」→）「コントロールパネル」→（「パフォーマンスとメンテナンス」→）「システム」を選ぶ



2 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする



3 下記の項目が表示されているかどうか確認する



■ 正しく認識されている場合

「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の中の「USB 大容量記憶装置デバイス」が表示されます。

■ 正しく認識されていない場合

「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」や「その他のデバイス」などに「！」や「不明なデバイス」と表示されます。（お使いのパソコンによって、表示される場所が変わります）

下記の方法で認識できることがあります。

- 方法 1：本機とパソコンの電源を一度切ってから、再度試してください。
- 方法 2：SD カードを一度取り出してから、再度試してください。
- 方法 3：お使いのパソコンの他の USB 端子に接続してください。

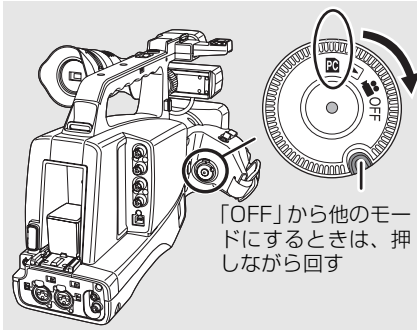
HD Writer Ver2.5 を使う

HD Writer Ver2.5 を使って、本機で撮影した映像をパソコンの HDD にコピーすることができます。映像を再生したいときには、HD Writer Ver2.5 の再生機能を使うか、パソコンの HDD から SD カードに書き戻し、本機をテレビに接続 (P82) してご覧ください。

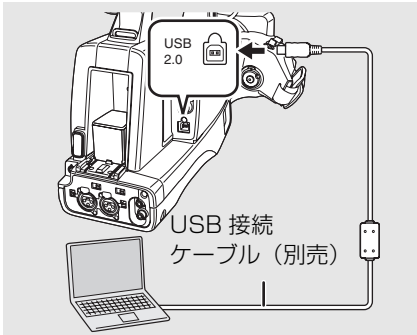
- HD Writer Ver2.5 を使うときは、ユーザー名を「Administrator」(もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名) にしてパソコンにログオンしてください。これ以外のユーザー名でログオンした場合は、ソフトウェアを使用することはできません。

■ パソコンの HDD に SD カードのデータをコピーするには

- 1 バッテリーまたは AC アダプターを取り付ける
- 2 本機に記録済みの SD カードを入れてから、モードダイヤルを **PC** に合わせて電源を入れる

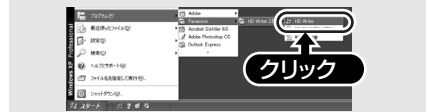


- 3 本機とパソコンをつなぐ



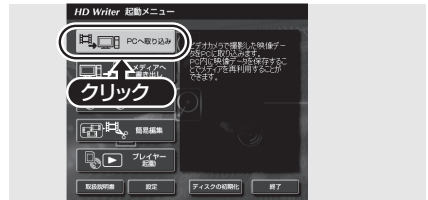
- USB接続ケーブルは、奥までしっかり差し込んでください。差し込みがゆるいと、正常に機能しません。

- 4 (パソコンで)
「スタート」→「すべてのプログラム (プログラム)」→「Panasonic」→「HD Writer 2.5J」→「HD Writer」を選ぶ



HD Writer Ver2.5の紹介画面が表示されます。「OK」をクリックするとソフトウェアが起動します。

- 5 「PCへ取り込み」ボタンをクリックする



- 6 「取り込み開始」ボタンをクリックする

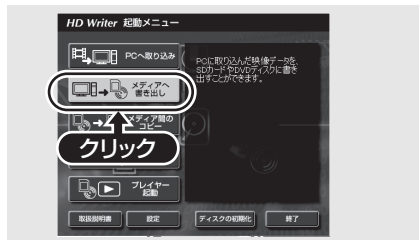


- 確認のメッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてください。コピーが開始されます。

■SD カードに書き戻すには

- 本機に SD カードを入れてフォーマットしてください。(P81)
(ビデオの撮影に使用可能な SD カード (P31) をお使いください)
フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことができません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- モードダイヤルを **PC** に合わせてください。
- 本機をパソコンと接続して HD Writer Ver2.5 を起動してください。

1 「メディアへ書き出し」ボタンをクリックする



2 右上の▼をクリックし、SD カードにコピーしたい映像データのフォルダを選ぶ



3 「書き出し開始」を選んで、映像をパソコンの HDD から SD カードにコピーする



- 確認のメッセージが表示されますので「はい」をクリックしてください。コピーが開始されます。

ノート

- ソフトウェアの詳しい使いかたについては、ソフトウェアの取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みください。
- HD Writer Ver2.5 で作成したディスクは、AVCHD 規格に対応していない機器には入れないでください。ディスクの取出しができなくなることがあります。
また、AVCHD 規格に対応していない機器では再生できません。
- HD Writer Ver2.5 で作成したディスクは、AVCHD 対応の機器であっても再生できない場合があります。その場合は SD カードに書き戻して、本機で再生してください。
- HD Writer Ver2.5 で作成されたメニュー画面は、本機では表示されません。
AVCHD 対応の機器で再生してください。

Macintosh をお使いの場合

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- Apple、Mac OS は 米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PowerPC は 米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- Intel® Core™ Solo および Intel® Core™ Duo は Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

■ カードリーダー機能（マスタストレージ）の動作環境

対応パソコン	Macintosh
対応 OS	Mac OS X 10.4
CPU	PowerPC G5 (1.8 GHz 以上) Intel® Core™ Duo Intel® Core™ Solo
メモリ	64 MB 以上
インターフェース	USB 端子

- OS 標準ドライバーで動作します。
- 付属の CD-ROM は Windows 専用です。

■ 写真ファイルをパソコンにコピーする

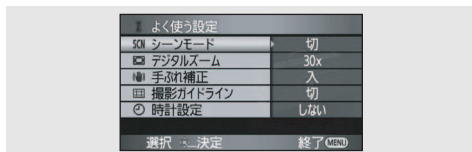
- 1 本機とパソコンを USB 接続ケーブルで接続する
- 2 デスクトップに表示されている [NO_NAME] または [名称未設定] をダブルクリックする
 - [DCIM] フォルダ内の [100CDPFP] フォルダにファイルが保存されています。
- 3 取り込みたい画像の入っているフォルダやファイルをパソコン上の別のフォルダにドラッグ & ドロップする

■ USB 接続ケーブルを安全に外す

デスクトップに表示されている [NO_NAME] または [名称未設定] を [ゴミ箱] に捨ててから、USB 接続ケーブルを取り外す

1. メニュー一覧

■ 撮影メニュー



■ よく使う設定

シーンモード (P64)
 デジタルズーム (P56)
 手ぶれ補正 (P59)
 撮影ガイドライン (P59)
 時計設定 (P44)

■ ビデオ設定

記録モード (P50)
 フェード色 (P58)
 レベルメーター (P63)

■ 写真設定

写真画質 (P54)
 シャッター効果 (P53)

■ お好み設定

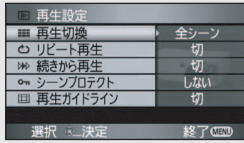
撮影ランプ (P106)
 ゼブラ (P60)
 カラーバー (P60)
 MF アシスト (P65)

■ セットアップ

カードフォーマット (P81)
 画面表示 (P106)
 日時表示 (P44)
 表示スタイル (P44)
 パワーセーブ (P106)
 お知らせブザー (P106)
 液晶調整 (P46)
 EVF 明るさ (P46)
 コンポーネント出力 (P85)
 HDMI 出力解像度 (P84)
 接続するテレビ (P82)
 初期設定 (P106)

■ LANGUAGE (P45)

▶ 再生メニュー (ビデオ再生タブ選択時)



■ 再生設定

再生切換 (P72)
 リピート再生 (P72)
 続きから再生 (P73)
 シーンプロテクト (P77)
 再生ガイドライン (P59)

■ セットアップ

カードフォーマット (P81)
 画面表示 (P106)
 日時表示 (P44)
 表示スタイル (P44)
 パワーセーブ (P106)
 お知らせブザー (P106)
 液晶調整 (P46)
 EVF 明るさ (P46)
 コンポーネント出力 (P85)
 HDMI 出力解像度 (P84)
 接続するテレビ (P82)

■ LANGUAGE (P45)

▶ 再生メニュー (写真再生タブ選択時)



■ 再生設定

シーンプロテクト (P79)
 DPOF 設定 (P80)

■ セットアップ

カードフォーマット (P81)
 画面表示 (P106)
 日時表示 (P44)
 表示スタイル (P44)
 パワーセーブ (P106)
 お知らせブザー (P106)
 液晶調整 (P46)
 EVF 明るさ (P46)
 コンポーネント出力 (P85)
 HDMI 出力解像度 (P84)
 接続するテレビ (P82)

■ LANGUAGE (P45)

2. お好み設定 / セットアップ関連のメニュー

- 下線部はお買い上げ時の設定です。

■ 撮影ランプ

- 切 ● 入

撮影ランプは、撮影中に点灯します。「切」にすると、撮影中にランプは点灯しません。

■ 画面表示

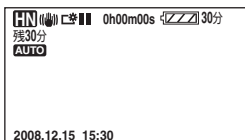
- 切 ● 入

画面の表示を図のように切り換えられます。

切



入



■ ノート

- SDカードの挿入の有無で画面表示は変わります。

■ パワーセーブ

- 切 ● 5分

切 : パワーセーブは動きません。

5分 : 約5分間操作しなかった場合、バッテリーの消費を防ぐため、自動的に電源が切れます。再度お使いになるときは、電源を入れ直してください。

- 以下の場合は「パワーセーブ」を「5分」にしても自動的に電源が切れません。
 - － ACアダプターでお使いのとき
 - － USB接続ケーブルでパソコンやプリンターと接続しているとき

■ お知らせブザー

- 切 ● 入

撮影の開始や終了などを音で確認できます。「切」にすると、撮影の開始 / 終了時などにブザーが鳴りません。

「ピッ」

撮影開始時、電源を入れたとき、本機がパソコンやプリンターを認識したときなどに鳴ります。

「ピピッ」

撮影停止時や電源を切ったときに鳴ります。

「ピピッ、ピピッ… (連続4回)」

撮影を開始できないなどのエラーが起こったときに鳴ります。画面に出る文章表示 (P109) の内容を確認してください。

■ 初期設定

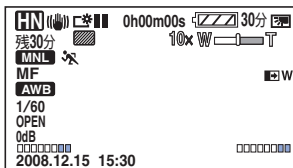
- する ● しない

機能の組み合わせによって選択できないメニューがあるときなどに、メニューをお買い上げ時の設定に戻します。

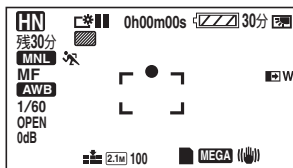
3. 画面の表示

■ 撮影表示

ビデオ撮影



写真撮影 (フォトショットボタン半押し時)



	バッテリー残量
30分	バッテリー残量時間
残30分	ビデオ撮影残り時間
0h00m00s	撮影経過時間
2008.12.15 15:30	年月日 時刻
●/ (赤)	撮影中 / カードに記録中
(緑)	撮影の停止中
AUTO	オートモード
MNL	マニュアルモード
MF	マニュアルフォーカス
10×	ズーム倍率表示
	逆光補正
	手ぶれ補正
	パワー LCD
1/60	シャッター速度
OPEN/F2.0	絞り値
0dB	ゲイン値
	フェード(白) / フェード(黒)
00000000	マイクレベル
	ゼブラ表示
HF / HN / HB	記録モード

	スポーツモード
	ポートレートモード
	ローライトモード
	スポットライトモード
	サーフ & スノーモード
AWB	オートモード
	屋内(白熱電球)モード
	屋外モード
	蛍光灯モード
	セットモード
○(白) / ●(緑)	シャッターチャンスマーク
MEGA	MEGA OIS
2.1M	写真の記録画素数 1920×1080
	カード記録可能状態
	カード認識中
	カード記録 / アクセス中
	写真画質
100	写真の残り記録可能枚数

ノート -----

- 日時表示はSDカードの挿入時にのみ表示されます。

■再生表示

ビデオ再生



写真再生



	再生中
	再生の一時停止中
	早送り / 早戻し再生中
	最後 / 最初のシーンの一時停止中
	スキップ再生中
	スロー / 逆スロー再生中
	正 / 逆方向コマ送り中
0h00m00s	再生時間
	再生切換 ● 全シーン ● 日付別
No. 10	シーン番号
	リピート再生
	続きから再生
100-0001	写真フォルダ / ファイル番号
PictBridge	PictBridge 対応プリンター接続時
	DPOF 設定済み (1 枚以上に設定)
	プロテクト設定済み
2.1M	写真の記録画素数 1920×1080
他の機器で記録した写真は、上記以外のサイズの場合はサイズ表示されません。	

■ PC 接続表示

	カードアクセス中 (パソコン接続時)
--	--------------------

■ 確認表示

	内蔵日付用電池が消耗したとき (P45)
	対面撮影時に警告が出ています。液晶モニターを戻して警告表示を確認してください。
	SD カードが入っていないとき、または使用不可カード

4. 文章表示

メッセージが表示されたら

記録できません。	SD カードへの書き込みに失敗しました。
シーンがありません。	SD カードにビデオや写真が記録されていません。 SD カードにデータが記録されているのにこの表示が出る場合は、カードの状態が不安定になっていることが考えられます。 一度電源を入れ直してください。
データの規格が異なるため使えません。	記録規格が異なるため使用できません。SD カードのデータをパソコンに保存して、フォーマット後お使いください。
データの規格が異なるため記録できません。	
カードを確認してください。	非対応のカード、または本機で認識できないカードです。
このカードはビデオ記録できません。	ビデオを撮影できない、8 MB もしくは 16 MB の SD カードを入れています。
カードがロックされています。 ロックを解除してください。	SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。(P31)
カードにアクセス中です。 カードを抜かないでください。	データの処理中です。カード扉を閉めてしばらくお待ちください。
カード残量がありません。	SD カードがいっぱいでは記録できません。不要なシーンや写真を削除するか、新しい SD カードを入れてください。(P38、76、78)
シーン数がいっぱいでは記録できません。	1 枚の SD カードに記録できるシーン数が最大記録数に達したため、記録できません。不要なシーンを削除するか、新しい SD カードを入れてください。(P38、76、78)
日付け別がいっぱいでは記録できません。	日付け別が最大数に達したため、記録できません。不要なシーンを削除するか、新しい SD カードを入れてください。(P38、76、78)
高温のため動作できません。 電源を切ってしばらくお待ちください。	本機内部の温度が高温になっているため、操作できません。電源を切り、温度が下がるのを待ってから、電源を入れ直してください。
このバッテリーは使えません。	本機で使用できるバッテリーをお使いください。(P35) 本機に対応していない AC アダプターをつないでいます。付属の AC アダプターをお使いください。(P36) 本機に対応したパナソニック製バッテリー (P35) をお使いの場合は、バッテリーを取り外し、再び取り付けてください。何度も繰り返し表示されるときは修理が必要です。電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。お客様での修理はご遠慮ください。
プロテクトできません。	HD Writer Ver2.5 でトップメニューを作成した SD カードのシーンには、プロテクト設定できません。
RESET ボタンを押してください。	本機が異常を検出しました。RESET ボタンを押して本機を再起動させてください。(P115)

(次ページにつづく)

設定できません。	カラーバー設定時は、「撮影ガイドライン」「ゼブラ」「MFアシスト」「レベルメーター」のメニュー設定はできません。
USB は使えません。 モードをかえてください。	撮影モードで USB 接続ケーブルをつないでいます。
モード切換時は USB ケーブルを抜いてください。	USB 接続ケーブルをつないだ状態で、PC 接続モードから他のモードに切り換えています。
USB 機能は使えません。 ケーブルを抜いてください。	パソコンやプリンターと正しく接続されていません。 USB 接続ケーブルを接続し直してください。
USB ケーブル接続中のため操作はできません。	パソコン接続中は本機の電源を切れません。

修復について

SD カードにアクセスしたときや、シーンを再生しようとしたとき、または異常な管理情報を検出すると、下記のメッセージが表示されることがあります。(エラー内容によっては時間がかかることがあります)

管理情報にエラーを検出しました。

サムネイル情報にエラーを検出しました。

AC アダプターを接続しているか、バッテリー残量が十分な場合

「管理情報は正常に修復されました。」

バッテリー残量が少ない場合

「AC アダプタを接続するかバッテリーをとりかえてください。」

AC アダプターを接続しているか、バッテリー残量が十分な場合

「サムネイルは正常に修復されました。」

バッテリー残量が少ない場合

「AC アダプタを接続するかバッテリーをとりかえてください。」

- 十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。
- データの状態によっては、完全には修復できないことがあります。
- 修復に失敗すると、電源が切れる前に撮影したシーンが再生できなくなります。
- 他機で記録されたデータを修復すると、本機や他機で再生できなくなる場合があります。
- 修復に失敗したときは、本機で SD カードをフォーマットしてください。
- サムネイル情報が修復されると、サムネイルの表示は遅くなる場合があります。

故障かな! ?と思う前に

1. 同時に使えない機能一覧

本機では仕様上、お使いの機能によって使えなくなったり、選べなくなる機能があります。下の表は機能が制限される例です。

使えない機能	使えなくなる条件
逆光補正	● 絞り・ゲイン設定時
シャッター効果音	● ビデオ撮影中
ズーム	● フォトショットボタン半押し時

使えない機能	使えなくなる条件
シーンモード	● オートモード時
MF フォーカスアシスト	● デジタルズーム（約12倍以上）使用時
白バランスモードの変更	● デジタルズーム（約12倍以上）使用時
シャッター速度/絞り・ゲインの調整	● シーンモード使用時





故障かな! ?と思う前に

2. 故障かな! ?


■ 本機操作時

こんなときは?	ご確認ください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーは十分に充電されていますか? → AC アダプターを使って充電してください。(P33)● バッテリーの保護回路が動作している可能性があります。バッテリーをACアダプターに5～10秒取り付けてみてください。それでも使用できない場合は、バッテリーの故障です。
電源が勝手に切れる	<ul style="list-style-type: none">● パワーセーブを「5分」に設定していませんか? → バッテリー使用時、パワーセーブを「5分」に設定したうえで本機を約5分間操作せずにいると、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再度お使いになるときは、電源を入れ直してください。 パワーセーブを「切」に設定すると、自動的に電源は切れません。(P106)
電源が入ってもすぐに切れる	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーが消耗していませんか? → バッテリー残量表示が点滅していたり、「バッテリーを取りかえてください。」のメッセージが出ている場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリーを充電してください。(P33)
本機を振ると「カタカタ」音がする	<ul style="list-style-type: none">● これはレンズが移動する音です。故障ではありません。電源を入れると音はしなくなります。
バッテリーの消耗が早い	<ul style="list-style-type: none">● 十分に充電されていますか? → AC アダプターを使って充電してください。(P33)● 低い温度のところでは使っていませんか? → バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度のところでは、使用できる時間が短くなります。● バッテリーが寿命になっていませんか? → バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用できる時間が短いときは、バッテリーの寿命です。
バッテリー残量の分表示が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none">● バッテリー残量表示はめやすです。 バッテリー残量が正しく表示されていないと思ったときは、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。(この操作を行っても、低温、高温になるところで長時間使用したバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります)

故障かな! ?と思う前に

こんなときは?	ご確認ください
<p>電源が入っているのに何も操作できない</p> <p>正常に動作しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● RESET ボタンを押してください。(P115) それでも直らない場合は、バッテリーや AC アダプターを外して 1 分程度たってから、再度バッテリーや AC アダプターを取り付け、さらに 1 分程度たってから電源を入れ直してください。(SD カードのアクセス中に上記の操作を行うと、データが破壊されることがあります)
<p>ワイヤレスリモコンが働かない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● グリップベルトがリモコン受信部にかかっていませんか? → グリップベルトが受信部にかからないようにしてください。 ● リモコンのコイン電池が消耗していませんか? → 新しいコイン電池と交換してください。(P29)
<p>機能表示(残量表示、カウンター表示など)が出ない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「セットアップ」メニューの「画面表示」が「切」になっていると、警告、日付表示など以外は消えます。
<p>電源が供給され、SD カードが正しく入っているのに、撮影できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SD カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしていますか? → 書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると撮影できません。(P31) ● SD カードの容量がなくなっていますか? → 容量がないときは、不要なシーンを削除するか、新しい SD カードを入れてください。(P38、76、78) ● 撮影モードにしていますか? → モードダイヤルが、 以外のときは撮影できません。 ● カード扉が開いていませんか? → カード扉が開いていると、本機が正しく動作しません。カード扉を閉じてください。
<p>撮影が勝手に止まってしまう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオ撮影に使用可能な SD カードをお使いですか? → ビデオ撮影に使用可能な SD カードをお使いください。(P31)
<p>自動でピントが合わない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● マニュアルフォーカスになっていませんか? → オート/マニュアル切換えスイッチをオート[AUTO]にするか、PUSH AUTO スイッチを押してください。(P65) ● オートフォーカスでピントが合いにくい場面を撮影していませんか? → オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。(P118) この場合は手でピントを合わせることができます。(P65)
<p>写真がきれいに撮影できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「写真画質」を「」にして、細かいものを撮影していませんか? → 「」で細かいものを撮影すると、モザイク状になることがあります。「」にして撮影してください。(P54)
<p>本機のスピーカーから再生音が出ない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量調整が小さくなりすぎていませんか? → 再生時に MONITOR LEVEL つまみを動かして音量を調整することができます。(P71)


故障かな! ?と思う前に

こんなときは？	ご確認ください
テレビと正しく接続しているのに映像が出ない 映像が縦長になる	<ul style="list-style-type: none">● テレビの入力切替が接続した端子と合っていますか？ → テレビの説明書をご覧になり、接続した端子に入力切替してください。● 「接続するテレビ」の設定は合っていますか？ → お使いのテレビに合わせて設定してください。 メニューボタンを押し、十字キーで「セットアップ」→「接続するテレビ」→「ワイド」または「4:3」に設定してください。
シーンなどの削除ができない	<ul style="list-style-type: none">● シーンがプロテクトされていませんか？ → プロテクトを解除してください。(P77)● 縮小画像が表示されないシーン(サムネイル表示が)は削除できないことがあります。不要な場合はSDカードをフォーマットしてください。(P81) フォーマットすると、SDカードに記録されているすべてのデータが削除されますので、お気をつけください。● 写真のファイルがプロテクトされていませんか？ → プロテクトを解除してください。(P79)● SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると削除できません。(P31)
SDカードの画像がおかしい	<ul style="list-style-type: none">● データが壊れている可能性があります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータは、パソコンなどにも保存するようにしてください。
SDカードをフォーマットしても使えようにならない	<ul style="list-style-type: none">● 本機またはSDカードの故障とと思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。本機では8MB～16GBまでのSDカードを使用してください。
本機にSDカードを入れても認識しない	<ul style="list-style-type: none">● パソコンでフォーマットしたSDカードを入れていませんか？ → SDカードをフォーマットする場合は本機で行ってください。フォーマットすると、SDカードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことはできませんので、お気をつけください。(P81)
他の機器にSDカードを入れても認識しない	<ul style="list-style-type: none">● SDカードを挿入されている機器が、ご使用のSDカードの容量、または種類(SDメモリーカード/SDHCメモリーカード)に対応しているかご確認ください。(P30) → 詳しくは、お使いの機器の説明書をお読みください。

故障かな! ?と思う前に

こんなときは?	ご確認ください
表示が消える 画面が動かなくなる 操作できなくなる	<ul style="list-style-type: none">● パソコンとつないでいませんか? → パソコンと接続中は、本機側からは操作できません。● 電源を切ってください。電源が切れないときは、RESET ボタンを押すか、バッテリー、AC アダプターを外して付け直し、電源を入れ直してください。それでも正常に動作しない場合は、電源を外し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
「RESET ボタンを押してください。」と表示される	<ul style="list-style-type: none">● 本機が異常を検出しました。RESET ボタンを押してください。本機が再起動します。● RESET ボタンを押さなかった場合は、約1分後に電源が切れます。● RESET ボタンを押しても、何度も繰り返し表示されるときは修理が必要です。電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。お客様での修理はご遠慮ください。
オーディオレベルメーターの一部が点滅する	<ul style="list-style-type: none">● 電源投入時や、メニュー画面から別の画面に切り替わる時などに、オーディオレベルメーターの一部が点滅することがありますが、故障ではありません。
画面右側に帯状の白い線が表示される	<ul style="list-style-type: none">● 十字キーの中央を押して画面に操作アイコンを表示させたとき、画面右側に帯状の白い線が表示されますが、故障ではありません。

■ パソコン接続時

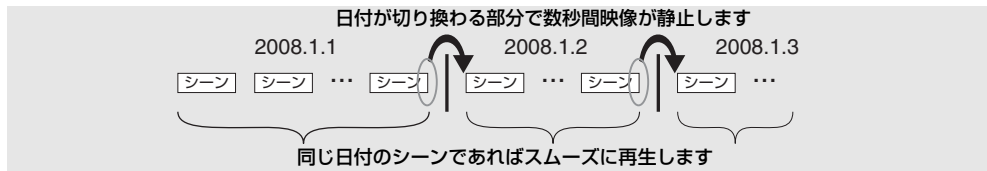
こんなときは?	ご確認ください
USB 接続ケーブルをつないでもパソコンが認識しない	<ul style="list-style-type: none">● 本機の操作モードや設定は正しいですか? → 撮影モード / 再生モードでは認識しません。PC 接続モードにしてください。● パソコンに複数のUSB端子がある場合は、USB端子を変更してみてください。● 動作環境を確認してください。(P93)● 本機の電源を切/入して、USB接続ケーブルを接続し直してください。
USB 接続ケーブルを外したらパソコンにエラーメッセージが出る	<ul style="list-style-type: none">● USB 接続ケーブルを安全に外すために、タスクトレイの  アイコンをダブルクリックしてから、画面の指示に従ってください。(P99)
HD Writer Ver2.5 の取扱説明書 (PDF ファイル) が見られない	<ul style="list-style-type: none">● Adobe Acrobat Reader 5.0 以降がお使いのパソコンにインストールされていますか? → HD Writer Ver2.5 の取扱説明書 (PDF ファイル) を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 あるいは Adobe Reader 7.0 以降が必要です。

■シーンの切り換わりについて

以下のような場合には、複数のシーンを連続して再生したときに、シーンの切り換わりで数フレームから数秒間画像が静止することがあります。

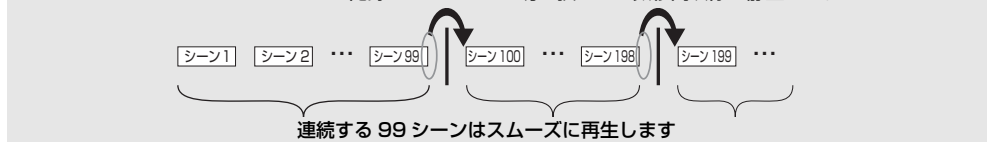
- シーンの連続再生のスムーズさは再生する機器に依存します。再生する機器によっては、下記の条件に該当しない場合でも一瞬映像が静止することがあります。

- 違う日付で記録した場合



- 同じ日付で99シーンを超える記録をした場合

99シーンの記録ごとにシーンの切り換わりで数秒間映像が静止します

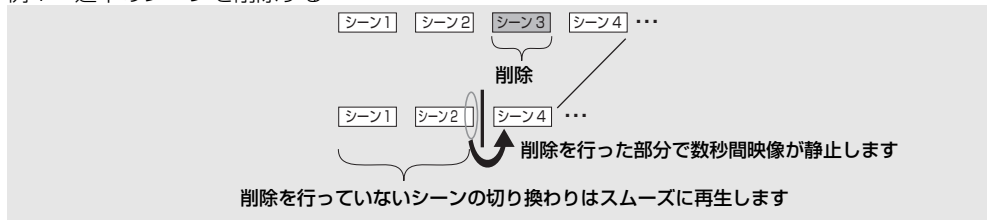


- 3秒未満のシーンを記録した場合

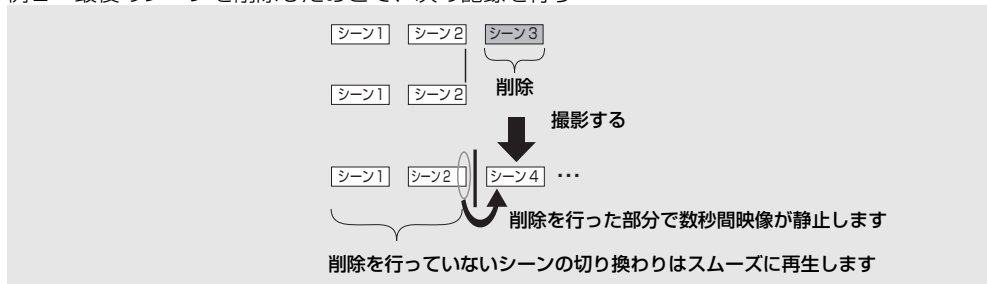


- シーンを削除した場合

例1：途中のシーンを削除する



例2：最後のシーンを削除したあとで、次の記録を行う



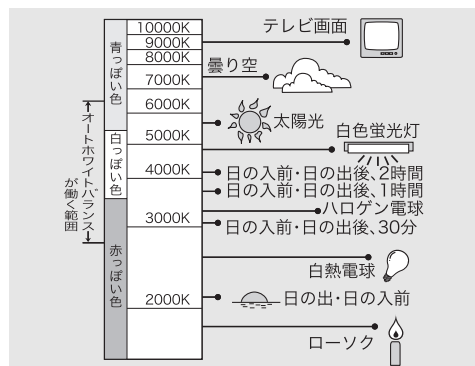
用語解説

オートホワイトバランス

本機は数種類の光源の下での白色情報をあらかじめ記憶しています。撮影時の光源がどのようなものか、白バランスセンサーとレンズからの情報によって判断し、記憶している白バランスの中から最も近いものを選びます。

この機能のことをオートホワイトバランスといいます。

しかし、数種類の光源での白色情報しか記憶していないので、それ以外の光源の下での撮影では、白バランスが正常に働きません。



オートホワイトバランスが働く範囲は、図のとおりです。範囲外での撮影では、映像が赤っぽくったり、青っぽくったりします。また、図の範囲内であっても、光源が複数の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合、手動で白バランスを調整してください。

白バランス (ホワイトバランス)

本機で撮影すると、光源の影響を受け赤っぽく撮れたり、青っぽく撮れたりすることがあります。このような現象が起らないように、白バランスという調整をします。

白バランスとは、様々な光源の下での白い色を決めることです。太陽の光の下での白い色とはどれなのか、蛍光灯の光の下での白い色とはどれなのかを認識させることによって、その他の色のバランスを調整します。

白色はすべての色(光)の基本になるので、基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮ることが可能になります。

オートフォーカス

レンズを自動的に前後に移動させ、ピントを合わせます。

以下のような特性があります。

- 被写体の縦の線がもっともはっきり見えるように調整する
- よりコントラストの強いものに焦点を合わせようとする
- 画面の中央部にしか焦点が合わない

このような特性のため、次のようなシーンでは、オートフォーカスは正しく働きません。マニュアルフォーカスで撮影してください。

● 遠くと近くのを同時に撮る

画面の中央に焦点が合うため、近くのを撮ると、背景にピントが合いにくくなります。遠くの山を背景に人物を撮る場合、両方に焦点を合わせることはできません。

● 汚れたガラスの向こうのを撮る

汚れたガラスにピントが合ってしまうので、ガラスの向こう側のものに焦点が合いにくくなります。また、車の往来が激しい道路の向こう側を撮る場合も、横切った車にピントが合ってしまうことがあります。

● キラキラと光るものが周りにある

キラキラ光るものに焦点が合ってしまうので、撮りたいものにピントが合いにくくなります。海辺、夜景、花火、特殊なライトが輝いているところなどはピントがぼけることがあります。

● 暗い場所を撮る

レンズに入ってくる光の情報が少なくなるため、ピントが合いにくくなります。

● 動きの速いものを撮る

機械的にレンズを動かしているため、速い動きには追いつけなくなります。

例えば、激しく動き回る子どもを撮るときは、ピントがぼけることがあります。

● コントラストの少ないものを撮る

コントラストの強いものや縦の線に焦点が合いやすいので、白い壁などコントラストや縦の線がないものには、焦点が合いにくくなります。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

故障・修理・お取扱い などのご相談は、まず、 お買い上げの販売店 へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■ 補修用性能部品

当社では、メモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。

保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

● 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

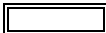
ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカード カメラレコーダー
品番	AG-HMC75
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

仕様

メモリーカードカメラレコーダー

電源	DC 7.3 V (AC アダプター使用時) / 7.2 V (バッテリー使用時)
消費電力	録画時 : 8.5 W

 は安全項目です。

信号方式	1080/60i
記録規格	AVCHD 規格準拠
撮像素子	CCD 固体撮像素子×3 総画素 約 56 万×3 有効画素 ビデオ / 写真: 約 52 万×3
レンズ	自動絞り 12 倍電動ズーム F1.8 ~ F2.8 (f = 4.0 mm ~ 48.0 mm) 35 mm 換算 : 38.5 mm ~ 462 mm
フィルター径	43 mm
ズーム	光学 12 倍・デジタル 30 倍・スーパーデジタル 700 倍
モニター	3 型ワイド液晶モニター (約 25.1 万画素)
ファインダー	0.44 型 ワイド EVF (約 18.3 万画素)
内蔵マイク	ステレオマイクロホン
スピーカー	20 mm 丸型 1 個
ヘッドホン	3.5 mm ステレオミニジャック
白バランス調整	自動追尾ホワイトバランス方式
標準被写体照度	1400 lx
最低照度	約 6 lx (ローライトモード 1/60 時)
映像出力	1.0 Vp-p 75 Ω
コンポーネント端子映像出力	Y: 1.0 Vp-p 75 Ω PB: 0.7 Vp-p 75 Ω PR: 0.7 Vp-p 75 Ω
HDMI 端子映像出力	HDMI [1125i (1080i) / 525p (480p)]
音声出力	316 mV インピーダンス 600 Ω
外部マイク入力	マイク感度 -70 dBV (3.5 mm ステレオミニジャック)
XLR 入力	XLR (3 ピン) × 2 (CH1, CH2) ハイインピーダンス LINE/MIC/+48V 切り替え LINE: 0 dBu MIC/+48V: -50 dBu / -60 dBu
USB	カードリーダーライター機能 (著作権保護対応無し) ハイスピード USB (USB2.0)、USB 端子 TYPE B

外形寸法	幅 233 mm × 高さ 233 mm × 奥行き 434 mm
本体質量	約 2.7 kg (バッテリー、SD カード含まず)
使用時質量	約 2.8 kg (バッテリー、SD カード使用時)
許容動作温度	0 °C ~ 40 °C (ただし、パソコンとの接続時は 0 °C ~ 30 °C)
許容相対湿度	10% ~ 80%
バッテリー持続時間	35 ページを参照してください。

ビデオ

記録メディア	SD メモリーカード： 256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで (FAT12、FAT16 形式に対応) SDHC メモリーカード： 4 GB、8 GB、16 GB (FAT32 形式に対応)
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264
記録モード	HF：約 13 Mbps (CBR) HN：約 9 Mbps (VBR) HE：約 6 Mbps (VBR)
音声圧縮形式	Dolby Digital (Dolby AC3) /2ch 記録

写真

記録メディア	SD メモリーカード： 8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、 2 GB まで (FAT12、FAT16 形式に対応) SDHC メモリーカード： 4 GB、8 GB、16 GB (FAT32 形式に対応)
圧縮方式	JPEG (DCF/Exif2.2 準拠)、DPOF 対応
記録画素数	1920 × 1080

AC アダプター

電源	AC 100 V ~ 240 V 50/60 Hz
入力容量	32 VA (AC 100 V 時) /44 VA (AC 240 V 時)
DC 出力	DC 7.3 V 1.75 A (ビデオカメラ)
充電出力	DC 8.4 V 1.3 A (充電)

バッテリーパック

最大電圧	8.4 V
公称電圧	7.2 V

 は安全項目です。

さくいん

英・数字

ACアダプター	16、33、36
AVCHD	19
A/V端子	85、86
DPOF設定	80
D端子	85
HDMI端子	83
LANGUAGE	45
MFアシスト	65
PictBridge	89
POWER LCD	46
SDHCメモリーカード	30
SDスピードクラス	32
SDメモリーカード	30

あ行

液晶モニター	17、28、46
オートフォーカス	118
オートホワイトバランス	118
お知らせブザー	106
音量調整	71

か行

カード	16、30、38
ガイドライン	59
画面表示	106
カラーバー	60
逆光補正	57
記録可能時間	50
記録可能枚数(写真)	54
記録モード	50
グリップベルト	26
黒バランス	67
ゲイン	68
言語設定	45
コマ送り再生	71

さ行

削除	
シーン	76
写真	78
撮影可能時間	35
撮影経過時間	49
撮影ランプ	106
三脚取付穴	27
シーンモード	61、64
絞り	68
写真	
再生	74
撮影	51
写真画質	54
シャッター効果音	53
シャッター速度	68
十字キー	39
充電時間	35
修復	110
初期設定	106
ショルダーベルト取付部	26
白バランス	66、118
ズーム	55
スキップ再生	70
スライドショー	74
スロー再生	70
接続するテレビ	82
ゼブラ	60
操作アイコン	40
た行	
対面撮影	57
ダビング	87、88
続きから再生	73
デジタルズーム	56
手ぶれ補正	59
同時記録	53
時計設定	44

な行

日時表示.....	44
残り記録可能枚数.....	52
残り撮影可能時間.....	49

は行

バッテリー.....	15、33、34
バッテリー残量表示.....	36
パワーセーブ.....	106
日付別再生.....	72
ビデオ	
再生.....	69
撮影.....	48
ビデオの互換性.....	70
ピント.....	51、65
フェード.....	58
フォーマット.....	81
プロテクト	
写真.....	79
ビデオ.....	77
ホワイトバランス.....	66、118

ま行

マイクレベル.....	63
マニュアルフォーカス.....	65
メニュー.....	42
メニュー一覧.....	104
モードダイヤル.....	37

ら行

リピート再生.....	72
リモコン.....	29

わ行

ワンプッシュオート機能.....	65
------------------	----

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

